

平成27年度

文教厚生委員会説明資料  
(所管事務)

教育委員会

# 目 次

1	組 織 図	1
2	平成27年度歳入歳出予算の総括	3
	(1) 一般会計	3
	(2) 特別会計	4
3	繰越明許費の状況	5
4	債務負担行為の状況	5
5	重点事業	6
6	課別説明	
	(1) 教育総務課	11
	(2) コンプライアンス推進室	17
	(3) 施設整備課	21
	(4) 教育戦略課	27
	(5) 教職員課	33
	(6) 福利厚生課	39
	(7) 学校政策課	43
	(8) 特別支援教育課	53
	(9) 人権教育課	57
	(10) 体育学校安全課	61
	(11) 生涯学習政策課	67
	(12) 教育文化政策課	71
	(13) 文化の森振興本部	77
	(14) 総合教育センター	85

# 1 組 織 図

## 教育委員会

委員 長 松 重 和 美

委員長職務代理者 面 泰 宏

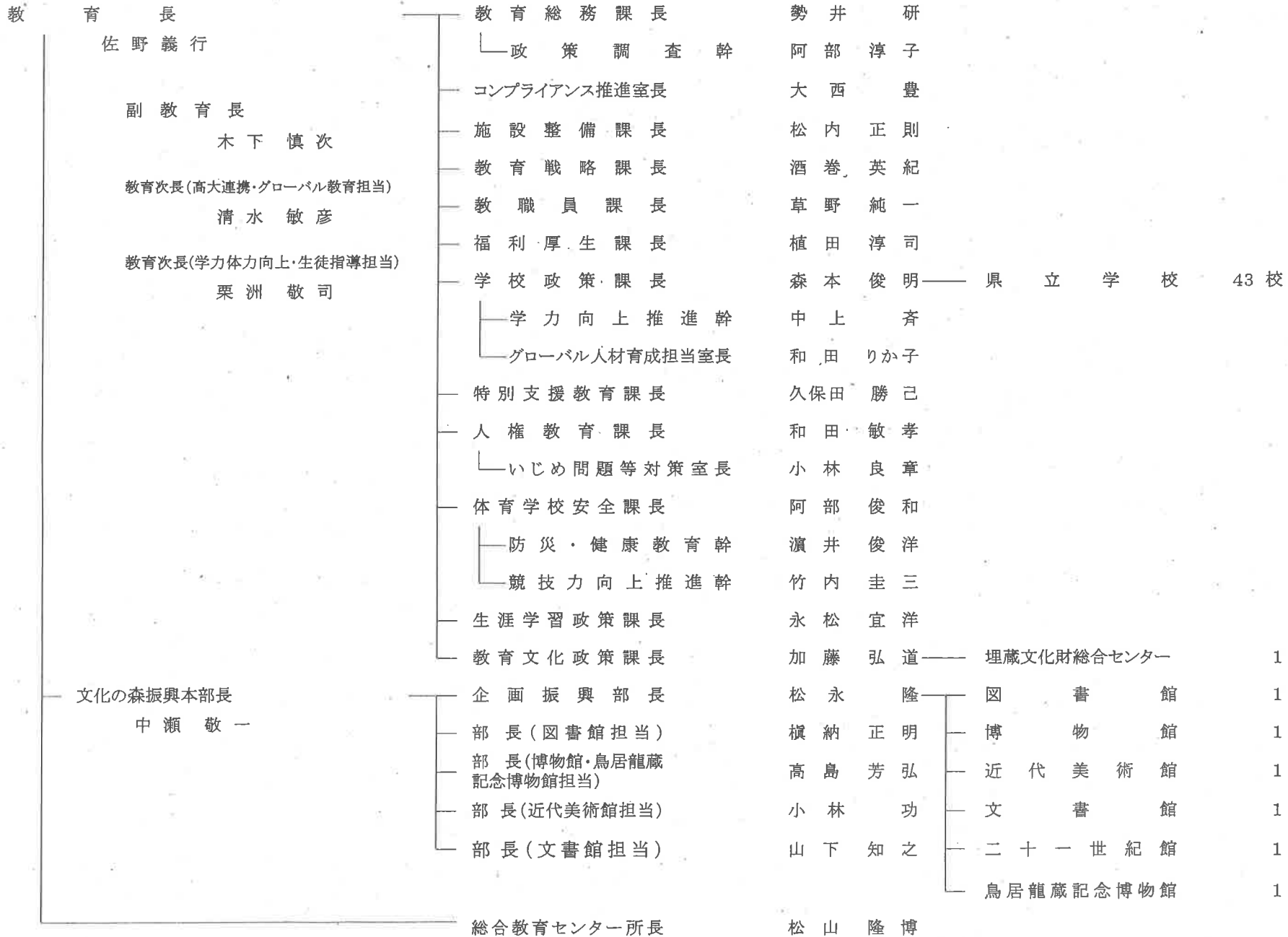
委員長職務代理者 田 村 典 子

委 員 坂 口 裕 昭

委 員 三 牧 千 鶴 子

委 員 (教育長) 佐 野 義 行

教育委員会事務局組織



## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

### (1) 一般会計

(単位：千円)

区 分	27年度		前年度		比 較		財 源 内 訳					
	当 初 予算額 A	当 初 予算額 B	最 終 予算額	増減 A-B	率 A/B×100	特 定 財 源						一 般 財 源
						国支出金	使 用 料 手 数 料	財産収入	繰 入 金	諸 収 入	地 方 債	
教育総務課	1,407,704	1,369,984	1,384,282	37,720	102.8		8,000	23,769	81,000	21,630		1,273,305
コンプライアンス推進室	1004	1,004	1,004	0	100.0							1004
施設整備課	1,822,618	4,701,689	4,873,676	△2,879,071	38.8	3,100			683,009		1,026,000	110,509
教育戦略課	13,677	431,871	457,868	△418,194	3.2		12,055			400		1,222
教職員課	66,431,243	66,113,780	65,306,858	317,463	100.5	12,691,219	1,573,614			9,010		52,157,400
福利厚生課	8,261,859	7,498,066	7,093,673	763,793	110.2			57,549		108	1,100,000	7,104,202
学校政策課	1,978,534	1,149,763	1,145,565	828,771	172.1	1,431,488	2,027		32,000	17,353		495,666
特別支援教育課	168,586	147,032	165,020	21,554	114.7	95,407			2,200	800		70,179
人権教育課	153,087	151,006	152,258	2,081	101.4	28,500				12,599		111,988
体育学校安全課	221,230	232,647	227,185	△11,417	95.1	33,789			4,500	124,757		58,184
生涯学習政策課	138,679	208,076	253,669	△69,397	66.6	23,970						114,709
教育文化政策課	256,833	440,053	449,504	△183,220	58.4	3,662	597			189,929		62,645
文化の森振興本部	637,088	592,344	617,894	44,744	107.6		14,531		41,000	39,622		541,935
計	81,492,142	83,037,315	82,128,456	△1,545,173	98.1	14,311,135	1,610,824	81,318	843,709	416,208	2,126,000	62,102,948

## (2) 特別会計

(単位：千円)

区 分	会 計 名	27年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳			
		当 予 算 A	初 額 B	最 予 算 額	終 額	増 減 A-B	率 A/B×100	財産収入	諸 収 入	繰 越 金
施設整備課	県有林県行造林 事業特別会計	250	250		250	0	100.0	250		
学校政策課	奨学金貸付金 特別会計	329,683	267,436		141,855	62,247	123.3	965	194,567	134,151
計		329,933	267,686		142,105	62,247	123.3	1,215	194,567	134,151

### 3 繰越明許費の状況

#### (1) 一般会計

(単位:千円)

区 分	繰 越 額	備 考
施設整備課	2,862,026	
教育戦略課	416,741	
学校政策課	11,500	
生涯学習政策課	54,000	
教育文化政策課	60,506	
計	3,404,773	

### 4 債務負担行為の状況

#### (1) 一般会計

(単位:千円)

区 分	事 項	期 間	限 度 額
施設整備課	高校施設整備事業工事請負等契約	平成28年度	142,425
	阿南工業高等学校仮設校舎賃貸借契約	自平成28年度 至平成30年度	291,667
計			434,092

## 5 重点事業

〈教育振興計画（第2期（平成25年度～29年度））の基本目標〉

『とくしまの教育力を結集し、未来を創造する、たくましい人づくり』

～県民とともに考え、ともに育むオンリーワン教育の実現～

### 1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現

#### (1) キャリア教育の推進

発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を実施するとともに、体験的な活動を充実させることにより、児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力や態度を育成する。

また、「産学官連携による産業教育推進事業」では、専門高校における実学に則した産業教育の取組を推進するため、産学官の連携を強化するとともに、その成果を展示発表会等への参加を通じて県内外に発信する。

#### (2) グローバル化に対応した教育の推進

児童生徒にグローバル社会における英語の必要性について理解を促し、外国語（英語）学習のモチベーションの向上を図りつつ、外国語（英語）を使う機会の拡大をめざす。

「Tokushima 英語村プロジェクト・ステップアップ事業」では、小・中・高等学校を通じて英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成を図るとともに、広く世界に目を向け、国際協調の精神を育むため、外国人との交流や体験活動の機会を創造し、他者と協働しながら未来を拓くことのできるグローバル人材を育成する。

#### (3) ICT活用能力の育成

これからの時代を担う児童生徒に必要なICT活用能力の育成に向け、情報モラルを身に付け、必要な情報を主体的に収集・判断・処理等し、発信・伝達等ができるようにするための取組を充実する。

#### (4) スポーツ文化の創造

競技人口の拡大や重点的・集中的な強化策の視点も踏まえ、関係機関との連携を図り各種事業を効果的に進める。

また、スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校において、スポーツ科学科の専攻実技種目を5種目から8種目に拡充するとともに、「徳島トップスポーツ校育成事業」では、全国大会で上位入賞をめざす部活動を支援するなど、2020年東京オリンピックに向け、競技力向上とトップアスリート育成のための取組を充実する。



## (5) 伝統文化の継承と文化芸術の創造

児童生徒がふるさと徳島の文化について県内外で発信できるように、学校における伝統文化・文化財の継承に資する教育を推進する。

また、文化の森総合公園各館において、資料の継続的な収集に努めるとともに、魅力的な展示や体験学習等の実践を通して、伝統文化の継承と文化芸術の創造につなげる。「文化の森25周年事業」では、民間との協働によりスケールの大きなイベントや展覧会を開催し、民間の視点を取り入れた多様な文化の発信を行う。

## 2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

### (1) 確かな学力の育成

「基礎的・基本的な知識・技能」に加え、それらを活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」、さらには「主体的に学習に取り組む態度」を「学力」の重要な3要素ととらえ、全国学力・学習状況調査等で明らかとなった課題を踏まえた教員の指導力向上及び授業改善のための重点的・継続的な支援を充実し、児童生徒の「確かな学力」を育成する。

### (2) 豊かな心の育成

規範意識を育成し、いじめや暴力行為を許さず、生命を大切にできる心や思いやりのある心、豊かな感性を育むため、家庭や地域と連携を図り、子どもの発達段階に応じた道徳教育の充実を図る。

また、スクールカウンセラーの派遣等による相談支援体制の充実を図るとともに、将来にわたり自他の生命を守り育てることができる児童生徒を育成するため、外部人材を活用した「いのちと心の授業」の実施や、大学と連携した「徳島版予防教育」の普及を図る。

### (3) 健やかに生きる力の育成

子どもの体力を向上させるため、学校体育の充実を図るとともに、子どもたちが主体的に運動を継続し、運動習慣の確立を図る取組を推進する。

また、学校における食育、健康教育を推進し、運動習慣の確立と望ましい生活習慣の形成を図り、生涯にわたって健康な生活を送れる力を育成する。

### (4) 個性がひらく特別支援教育の推進

特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、幼児期から就労期まで一貫した指導・支援が行えるよう、一人一人の自立と社会参加を見据えた取組を推進する。

「発達障がい等『地域のまなび支援』推進事業」では、インクルーシブ教育システム構築のために、多様な学びの場を充実し、特別支援学校センター的機能の充実と教員の指導力向上を図るとともに、特別支援学校生徒の自立に向けた就労支援体制を強化する。

### (5) 行動につながる人権教育の推進

すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、「徳島県人権教育推進方針」に基づき、学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進する。

また、人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進め、幼児児童生徒の知識・理解を深め、確かな人権感覚を育て、実践力を養うとともに、教員の指導力の向上と資質の向上を図る。

### (6) 豊かな感性を育む芸術文化活動の推進

様々な学習機会を活用し、芸術文化に関する体験学習や優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図ることにより、児童生徒が豊かな感性や情操、創造性、コミュニケーション能力などを養うことができるように取り組む。

## 3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

### (1) 学校・家庭・地域の連携の推進

県民の教育に対する理解を深めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった教育体制づくりを進める。

「放課後子供教室推進事業」や「週末等の教育支援体制構築事業」では、地域住民の参画を得て、放課後や週末等における安全安心な居場所の確保と、多様な学びや体験活動の場の提供を支援する。

### (2) とくしまの教育力の活用

地域住民の教育支援活動への参画をとおして、地域ぐるみで子どもたちを育てる気運の醸成を進める。

学校支援地域本部の設置による学校支援ボランティアの組織化を図る「地域ぐるみの学校支援事業」などの取組の充実に努め、家庭での学習が困難な中学生等を対象とした学習支援を行う「地域未来塾」を推進する。

### (3) 幼児期の成長を支える取組の推進

幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組む。

### (4) 社会教育における人権教育の充実

幼児期から高齢期に至るそれぞれのライフステージに対応した交流活動や研修会、研究大会等の人権に関する多様な学習活動を展開していくことを通じて、同和問題をはじめ様々な人権問題について理解を図るとともに、人権尊重の意識の高揚に努める。

### (5) 地域の教育に貢献する人材の育成

地域の絆を強め、地域の教育力を高めるため、人権教育や防災・減災をはじめとした地域の課題解決に取り組む人材の育成を進める。

#### 4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現

##### (1) 多様なニーズに対応した学習機会の提供

県民の学習意欲を高めるとともに、県民に満足を与える学習機会を提供するため、質の高い生涯学習情報を提供する体制づくりを進める。

また、日本語指導が必要な児童生徒を支援するためのネットワークを作り、帰国・外国人児童生徒が、早期に効果的な日本語教育が受けられ、生き生きと学校生活を過ごすことができるようにする。

##### (2) 学びの環境の充実

生涯にわたって学び続けることができる生涯学習社会の実現をめざすための取組を、文化の森総合公園各館をはじめ生涯学習に関連する各施設において推進する。

また、文化の森開館25周年を機に、展示解説の多言語化や障がい者、高齢者、外国人等異なる特性の人にも、わかりやすい表示・サインに変更する等、県民にとって安全安心で利用しやすい施設づくりを進める。

##### (3) 郷土とくしまから学ぶ機会の充実

子どもたちが、郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができるよう、学校での授業・課外活動において、文化の森総合公園各館が保有する資料の活用を図るとともに、学芸員等専門職員の講師派遣をより一層進める。

##### (4) 文化遺産を活用した学びの場づくり

県内所在の文化財について基礎調査を行い、文化財の適切な保存・活用を図るとともに、県民の参加を得ながら、文化財を活かした地域づくりをめざす各地域の取組を支援する。

##### (5) 学び続ける場と機会の充実

生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現をめざし、これまでの学習成果を指導者や教育支援者としての活動につなげることにより、さらなる生涯学習意欲の増進を進める。

#### 5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現

##### (1) 安全・安心なとくしまの学校づくり

南海トラフの巨大地震等に備え、県立学校や市町村立学校等の耐震化を推進し、児童生徒が、安全・安心に学ぶことのできる教育環境の実現に努めるとともに、県立学校については、中核的な避難所として機能するように、施設・設備の強化・充実を進める。

また、自然災害等の危険に際して自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」の育成や、安全で安心な社会づくりへの貢献について、児童生徒の意識の向上を図るとともに、児童生徒一人一人が生き生きと活動でき、「心の居場所」となる魅力のある楽しい学校づくりを推進する。

(2) 社会の変化に対応した魅力ある学校づくり

県民にとって魅力のある教育活動を展開していくための高校再編を進めるとともに、少子化の進行やグローバル化への対応など中長期的な課題に対する調査・研究を行い、社会の変化に対応したこれからの高校教育を創造していく。

(3) 希望に導く教職員の育成

優秀な人材の確保を図るとともに、教職生活全体を通じて学び続ける教員を支援するなど、教職員の資質能力向上に向けた仕組みづくりや研修の充実に努める。

また、メンタルヘルス対策や健康管理対策等を行い、教職員が安心して教育活動に専念し、その能力を存分に発揮できるための支援策を推進する。

(4) 教育機関の運営体制の充実

教職員の校務負担の軽減を図り、児童生徒と向き合う時間を増加させるために、ICTを活用した校務の情報化に取り組む。

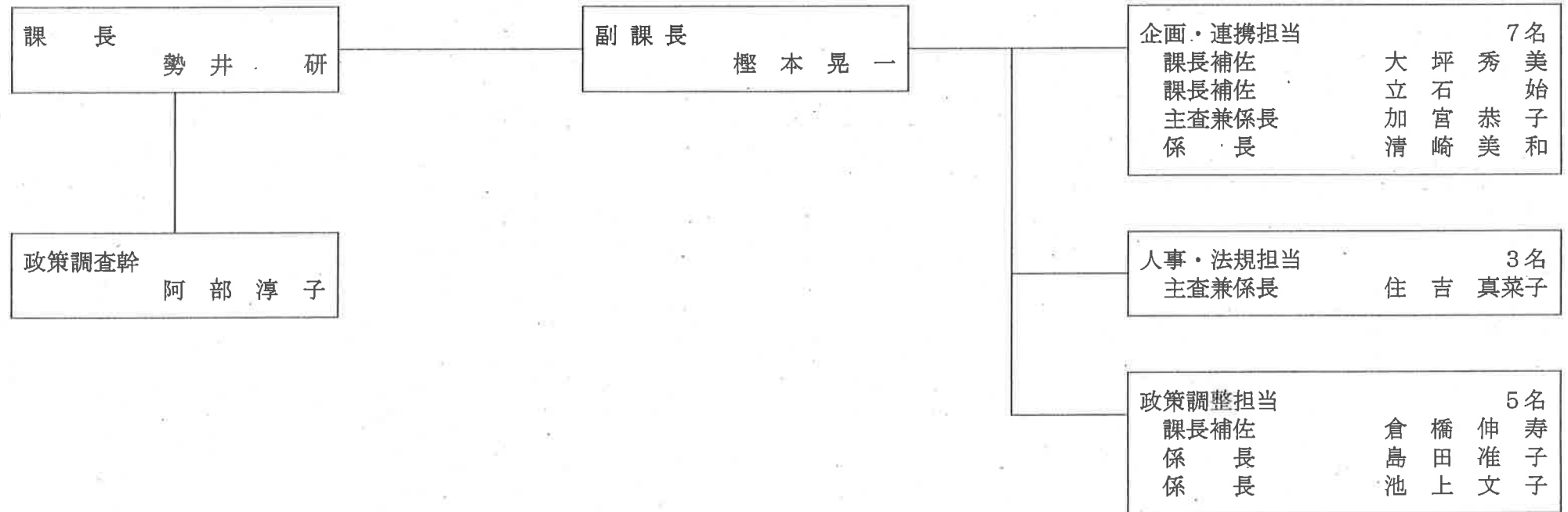
また、徳島県教育振興計画（第2期）の進捗状況について、学識経験者の知見を活用し、点検・評価及び改善・見直しを行い、次年度以降の施策の改善に努めるとともに、効果的な教育行政の推進を図る。

# 教 育 総 務 課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

ア 職員総数 18名



(2) 事務分掌

課長 勢井 研  
 政策調査幹 阿部 淳  
 副課長 樫本 晃

担 当 名	分 掌 事 務	担 当 者 名
企画・連携担当	1 教育委員会の会議に関する事。 2 総合教育会議に関する事。 3 教育行政の点検・評価に関する事。 4 教育振興計画に関する事。 5 教育委員会の広報に関する事。 6 教育行政に係る広聴・相談に関する事。	課長補佐 大坪 秀美 課長補佐 立石 始 主査兼係長 加宮 恭子 係長 清崎 美和
人事・法規担当	1 条例, 規則, 告示, 訓令の審査に関する事。 2 事務局等職員(教育関係職員を除く。)の人事, 勤務条件, 研修, 定数に関する事。 3 訴訟, 和解, 不服申立に関する事。	主査兼係長 住吉 真菜子
政策調整担当	1 教育委員会全体の予算・決算の総合調整に関する事。 2 教育委員会全体の政策に係る総合調整に関する事。 3 県議会に関する連絡・調整に関する事。 4 教育委員会全体の政策評価に関する事。 5 各種団体からの要望等に対する処理に関する事。	課長補佐 倉橋 伸寿 係長 島田 准子 係長 池上 文子

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	27年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特 定 財 源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
教育委員会費	9,458	9,713	7,153	△255	97.4							9,458
事務局費	5,486	5,898	6,133	△412	93.0			678				4,808
教職員人事費	2,365	2,489	2,089	△124	95.0							2,365
企画調査費	1,912	2,245	2,056	△333	85.2					400		1,512
高等学校総務費	60,888	48,458	56,982	12,430	125.7							60,888
全日制高等学校管理費	891,140	901,257	923,011	△10,117	98.9		3,700	23,091	81,000	16,220		767,129
定時制高等学校管理費	51,774	52,367	46,743	△593	98.9							51,774
教育振興費	56,722	58,328	57,468	△1,606	97.2		4,300					52,422
通信教育費	2,261	2,312	2,312	△51	97.8							2,261
特別支援学校費	325,698	286,917	280,335	38,781	113.5					5,010		320,688
計	1,407,704	1,369,984	1,384,282	37,720	102.8	0	8,000	23,769	81,000	21,630	0	1,273,305



### 3 重点事業

#### (1) 教育委員会の運営

教育行政の適切な執行のため、教育委員会会議の運営補助を行う。

#### (2) 広報広聴活動の充実

広報広聴活動を充実し、広く県民に教育の現状や課題を周知して施策の普及に努める。

#### (3) 教育委員会事務局等の組織の充実強化

円滑な教育行政を推進するため、事務局各課及び教育機関の職員の適正な配置に努めるとともに、組織を充実強化し、事務処理の能率化を図る。

#### (4) 教育行政の総合的な調整

教育委員会の予算及び重要政策課題の総合調整を行い、教育振興計画の着実な推進を図る。

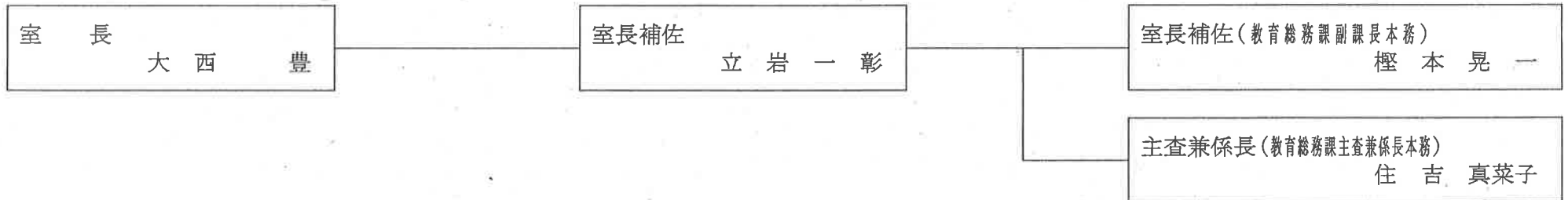


# コンプライアンス推進室

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

ア 職員総数 4名 (うち2名兼務)



## (2) 事務分掌

担当名	分掌事務	担当者名
	1 コンプライアンス推進に関すること。 2 コンプライアンス研修及び啓発に関すること。 3 コンプライアンス推進本部会議, コンプライアンス推進員会議に関する こと。 4 公益通報制度の通報処理に関すること。 5 不当要求行為等の対策に関すること。 6 働きかけ制度に関すること。 7 セクシュアルハラスメント等相談窓口の運用に関すること	室長補佐 立岩 一彰 室長補佐(教育総務課副課長本務) 榎本 晃一 主査兼係長(教育総務課主査兼係長本務) 住吉 真菜子

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

### (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度		前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源						一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債		
事務局費	1,004	1,004	1,004	0	100.0								1,004
計	1,004	1,004	1,004	0	100.0	0	0	0	0	0	0	0	1,004

## 3 重点事業

### (1) コンプライアンス意識の醸成

- ・コンプライアンス意識を醸成するため、推進体制を整備し、啓発活動及び研修の充実を図る。
- ・啓発活動及び研修の充実のための、研修ツールの提供やイベントを企画する。
- ・スムーズな情報交換や活発なコミュニケーションが図れる「風通しの良い職場環境づくり」を推進する。

### (2) 公益通報制度の運用

- ・公益通報や苦情等その他の通報を円滑に処理する。
- ・通報内容を分析し、コンプライアンス意識の醸成に活用する。

### (3) セクシュアルハラスメント等相談窓口の運用

- ・教育委員会事務局における相談体制の整備、周知徹底、相談の円滑な処理を行う。
- ・相談員の対応能力向上に努める。

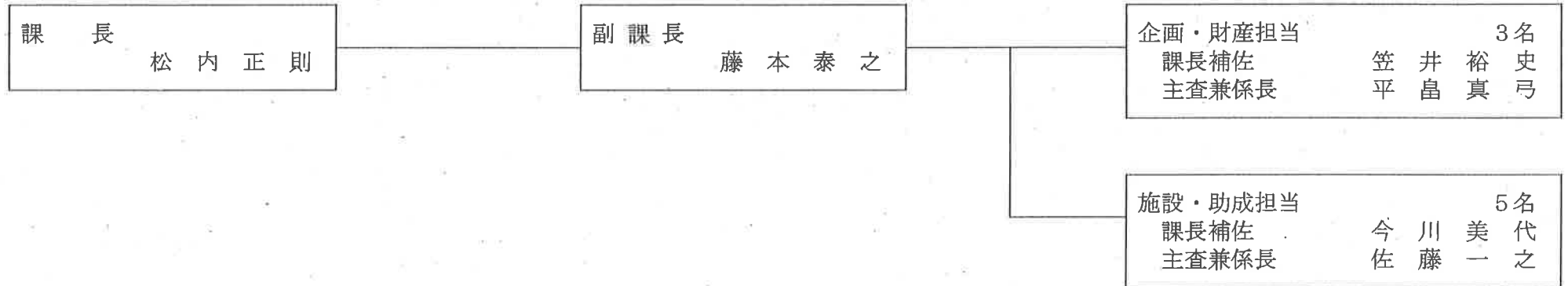


# 施 設 整 備 課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

職員総数 10名



## (2) 事務分掌

担当名	分掌事務	担当者名
企画・財産担当	1 課の予算の編成，執行及び決算に関する事。 2 教育財産の取得，処分及び管理に関する事。	課長補佐 笠井裕史弓 主査兼係長 平島真弓
施設・助成担当	1 県立学校施設の改築に関する事。 2 県立学校施設・設備の整備，修繕に関する事。 3 県立学校施設の耐震改修に関する事。 4 産業教育施設・設備の整備に関する事。 5 公立文教施設（市町村立学校）国庫負担事業等の指導監督に関する事。	課長補佐 今川美代之 主査兼係長 佐藤一之



2 平成27年度歳入歳出予算の総括

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
事務局費	7,725	7,938	9,625	△213	97.3	3,100						4,625
教育振興費	29,814	3,039	3,901	26,775	981.0				29,000			814
(高等学校費) 学校建設費	1,751,622	3,979,419	4,113,661	△2,227,797	44.0				654,009		1,026,000	71,613
実習船運営費	8,629	8,727	8,727	△98	98.9							8,629
(特別支援学校費) 学校建設費	24,828	702,566	728,405	△677,738	3.5							24,828
公用公共用施設 災害復旧費	0	0	9,357	0	—							0
計	1,822,618	4,701,689	4,873,676	△2,879,071	38.8	3,100	0	0	683,009	0	1,026,000	110,509

## (2) 特別会計

(単位：千円)

会計名	科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳					
		当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B×100	国支出金	財産収入	繰入金	諸収入	繰越金	
県有林県行造林 事業特別会計	学校林費	250	250	250	0	100.0		250				
計		250	250	250	0	100.0	0	250	0	0	0	0

## 3 繰越明許費の状況

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科目(目)	繰越額	事業名及び繰越理由
(高等学校費)学校建設費	2,442,709	高校施設整備事業費 計画に関する諸条件
(特別支援学校費)学校建設費	419,317	特別支援学校施設整備事業費 計画に関する諸条件
計	2,862,026	

#### 4 債務負担行為の状況

##### (1) 一般会計

(単位：千円)

事 項	限 度 額	前年度末までの 支 出 額		当該年度以降の 支 出 予 定 額		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一 般 財 源
						国 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
高校施設整備事業工事 請負等契約	142,425			平成28年度	142,425		74,000		68,425
阿南工業高等学校仮設 校舎賃貸借契約	291,667			自平成28年度 至平成30年度	291,667				291,667

#### 5 重点事業

##### (1) 県立学校施設の整備

県立学校における施設及び設備の整備については、情報化、産業技術の進歩、環境負荷の低減等を踏まえた整備・充実に努めるとともに、県立学校施設の改築や耐震改修の推進により、災害時における地域の中核的な避難所として耐震性の確保を図るなど、安全で快適な教育環境の充実に努める。

##### (2) 市町村立小・中学校の施設整備指導

公立幼稚園、小学校及び中学校の施設整備については、市町村の計画の円滑な促進に努める。

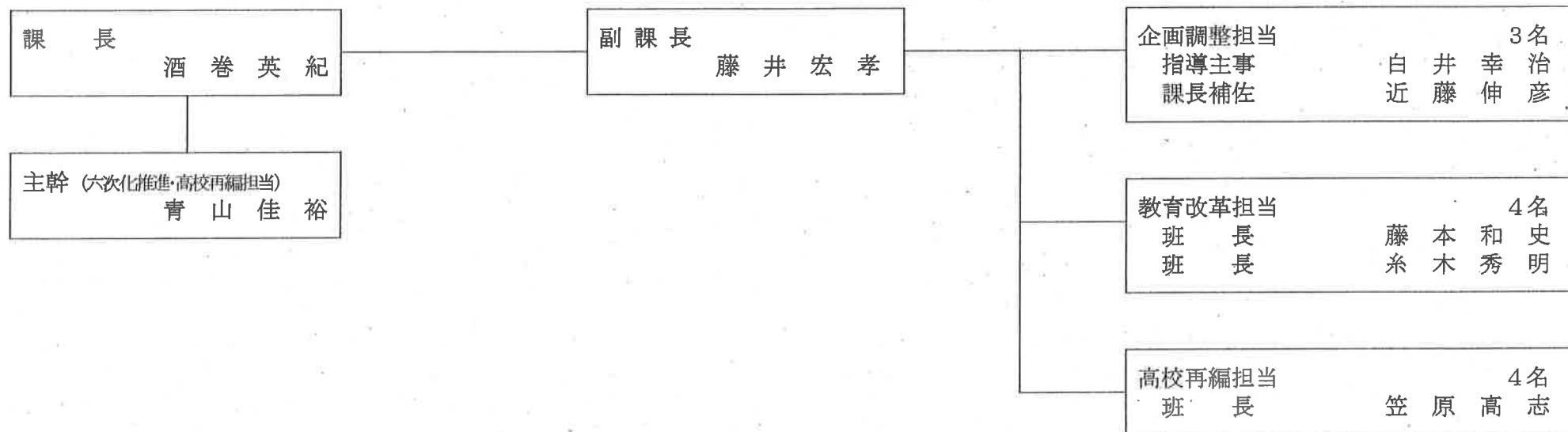


# 教 育 戰 略 課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

職員総数 14名 (うち1名兼務)



(2) 事務分掌

課長 酒 卷 英 紀  
 主幹(六次化推進・高校再編担当) 青 山 佳 裕  
 副課長 藤 井 宏 孝

担 当 名	分 掌 事 務	担 当 者 名
企画調整担当	1 教育に関する基本的な調査統計に関すること。 2 併設型中高一貫教育の活性化に関すること。 3 徳島県教育振興計画に関すること。(他課の分掌に属するものを除く。)	指導主事 白 井 幸 治 課長補佐 近 藤 伸 彦
教育改革担当	1 学校における教育改革の事務の総括に関すること。 2 公立高等学校及び県立中学校の募集定員の設定に関すること。 3 公立高等学校及び県立中学校入学者選抜に関すること。	班 長 藤 本 和 史 班 長 糸 木 秀 明
高校再編担当	1 高校再編の事務の総括に関すること。 2 専門高校の活性化に関すること。 3 総合寄宿舍の再編整備に関すること。	班 長 笠 原 高 志

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
計画調査費	0	0	26,150	0	-							
教育指導費	2,463	2,037	1,936	426	120.9							2,463
企画調査費	559	584	532	△25	95.7							559
高等学校総務費	10,655	10,722	10,722	△67	99.4		12,055			400		△1,800
(高等学校費) 学校建設費	0	418,528	418,528	△418,528	皆減							
計	13,677	431,871	457,868	△418,194	3.2	0	12,055	0	0	400	0	1,222

## 3 繰越明許費の状況

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科目(目)	繰越額	事業名及び繰越理由
計画調査費	26,150	地域活性化・地域住民生活等緊急支援費 計画に関する諸条件
(高等学校費) 学校建設費	390,591	高校施設整備事業費 計画に関する諸条件
計	416,741	



## 4 重点事業

### (1) 高校教育改革の推進

多様化する生徒のニーズに応えていくことができる教育の実現を図るため、農業教育、工業教育、商業教育等の専門教育の活性化に取り組むとともに、特色ある学校づくりを進めるための学科再編に取り組む。

### (2) 高校再編の推進

各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を実施し、活力ある教育活動を展開していくため、全県的な高校再編を進め、地域とともに新たな時代に対応した活力と魅力ある学校づくりを推進する。

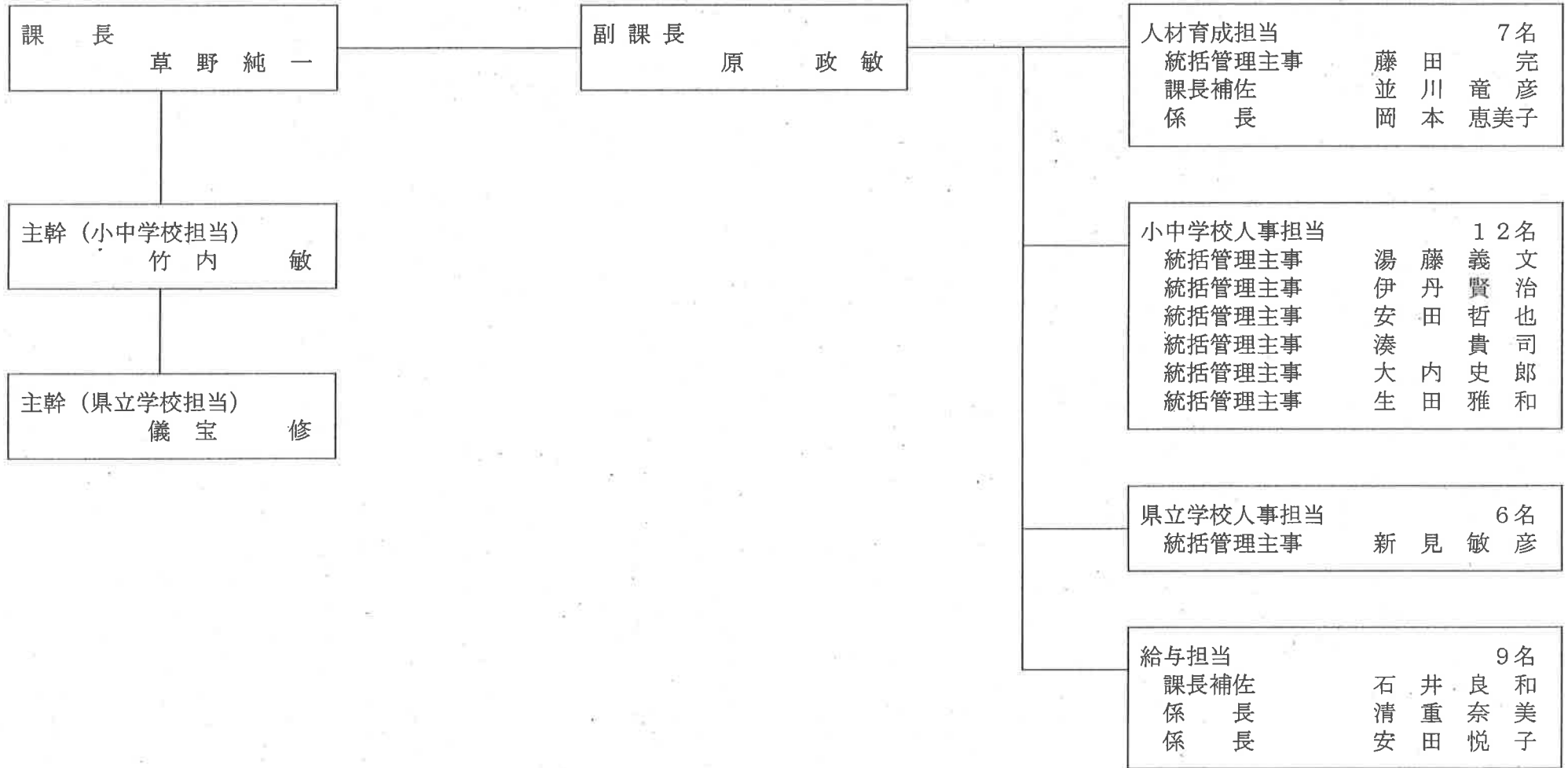


# 教 職 員 課

1 組織図及び事務分掌

(1) 組織図

ア 職員総数 38名 (うち2名併任)



(2) 事務分掌

課長 草野純一  
 主幹(小中学校担当) 竹内敏  
 主幹(県立学校担当) 儀宝修  
 副課長 原政敏

担当名	分掌事務	担当者名
人材育成担当	1 県立学校の教育関係職員及び県費負担教職員の研修に関する事(他課の分掌に属するものを除く。) 2 県立学校の教育関係職員及び県費負担教職員の職員団体に関する事。 3 教育職員免許に関する事。 4 予算の編成, 執行及び決算に関する事。	統括管理主事 藤田完 課長補佐 並川竜彦 係長 岡本恵美子
小中学校人事担当	1 県費負担教職員の任免, 分限, 懲戒, 表彰その他人事に関する事。 2 地教行法第四十三条第四項の規定に基づく技術的な基準に関する事。 3 県費負担教職員の勤務条件に関する事。 4 小, 中学校の職員組織に関する事。 5 市町村教育委員会の連絡調整に関する事。 6 県費負担教職員の叙位叙勲の総合調整に関する事。	統括管理主事 湯藤義文 統括管理主事 伊丹賢治 統括管理主事 安田哲也 統括管理主事 湊貴司 統括管理主事 大内史郎 統括管理主事 生田雅和
県立学校人事担当	1 県立学校の教育関係職員の任免, 分限, 懲戒, 表彰その他人事に関する事。 2 県立学校の教育関係職員の勤務条件に関する事。 3 県立学校の職員組織に関する事。 4 県立学校の教育関係職員の叙位叙勲の総合調整に関する事。	統括管理主事 新見敏彦
給与担当	1 事務局職員, 県立学校教職員, 県費負担教職員, その他の教育機関の職員の給与(退職手当を除く。)に関する事。 2 給与制度に関する事。 3 義務教育費国庫負担金事務に関する事。	課長補佐 石井良和 係長 清重奈美子 係長 安田悦子

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	27年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特 定 財 源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
事 務 局 費	1,963,653	1,916,212	1,919,238	47,441	102.5	4,000				9,010		1,950,643
教 職 員 人 事 費	17,158	14,340	17,267	2,818	119.7		10,104					7,054
教 育 指 導 費	81,231	82,157	65,280	△926	98.9	19,764						61,467
総 合 教 育 セ ン タ ー 費	1,050	1,288	1,288	△238	81.5							1,050
( 小 学 校 費 ) 教 職 員 費	26,343,483	26,525,903	26,115,092	△182,420	99.3	7,065,562						19,277,921
( 中 学 校 費 ) 教 職 員 費	15,915,786	15,705,578	15,716,593	210,208	101.3	4,151,673	171					11,763,942
高 等 学 校 総 務 費	15,393,529	15,273,754	15,022,125	119,775	100.8	610,971	1,562,468					13,220,090
通 信 教 育 費	143,787	139,804	158,824	3,983	102.8	461	871					142,455
特 別 支 援 学 校 費	6,571,566	6,454,744	6,291,151	116,822	101.8	838,788						5,732,778
計	66,431,243	66,113,780	65,306,858	317,463	100.5	12,691,219	1,573,614	0	0	9,010	0	52,157,400

### 3 重点事業

- (1) 教職員の資質の向上  
教育の専門家としての確かな力量や、教育公務員としての倫理観、使命感、社会性等を培うこと等に取り組み、教職員の資質の向上に努める。
- (2) 優秀な教職員の確保  
教員採用審査において、人物重視の審査に向けた様々な改善を行い、優秀な教職員の確保に努める。
- (3) きめ細やかな指導体制の整備  
小学校1年生から6年生及び中学校1年生を対象とした35人学級の導入や少人数指導のための教員の計画的な配置に努める。
- (4) 市町村教育委員会との連携  
県・市町村教育行政連絡協議会、管区別教育長会の開催をはじめ、あらゆる機会を通じ、市町村教育委員会との緊密な連携に努める。
- (5) 教育職員の免許状の授与  
教育職員免許法に基づき教育職員免許状を授与する。



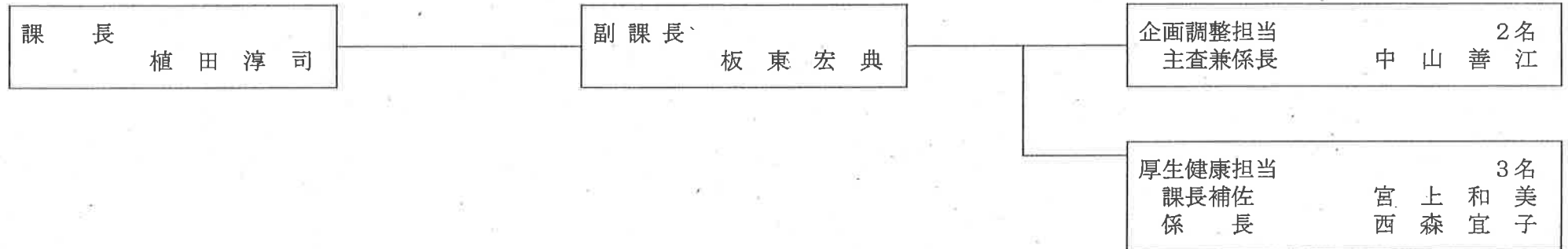


# 福利厚生課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

職員総数 7名 (うち1名兼務)



## (2) 事務分掌

課長 植田 淳司  
副課長 板東 宏典

担当名	分掌事務	担当者名
企画調整担当	1 課及び共済組合・互助組合の職員の人事服務に関する事。 2 課の予算の編成, 執行及び決算に関する事。 3 退職手当に関する事。 4 恩給に関する事。 5 公務災害補償に関する事。 6 教職員被服貸与に関する事。	主査兼係長 中山 善江
厚生健康担当	1 教職員の福利厚生事業の総合企画及び調整に関する事。 2 教職員住宅に関する事。 3 教職員健康管理・労働安全衛生に関する事。 4 教職員相談事業に関する事。 5 教職員生涯生活設計支援事業に関する事。 6 その他教職員福利厚生に関する事。	課長補佐 宮上 和美子 係長 西森 宜子

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

### (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
事務局費	200	200	200	0	100.0							200
教職員人事費	8,026,644	6,852,546	6,466,183	1,174,098	117.1						1,100,000	6,926,644
恩給及び退職年金費	58,587	87,075	70,759	△28,488	67.3							58,587
福利厚生費	64,320	451,526	452,512	△387,206	14.2			57,549		108		6,663
保健体育総務費	112,108	106,719	104,019	5,389	105.0							112,108
計	8,261,859	7,498,066	7,093,673	763,793	110.2	0	0	57,549	0	108	1,100,000	7,104,202

## 3 重点事業

教職員の健康保持・増進のため、健康診断等保健管理を着実に実施するとともに、メンタルヘルス不調に対処するための相談事業や管理職に対するセミナーの開催、復職者への支援事業等体系的なメンタルヘルス対策の推進に努める。

また、公立学校共済組合及び教職員互助組合と十分連携を図り、効果的な事業執行を行うことで、教職員の福利厚生の向上に努める。



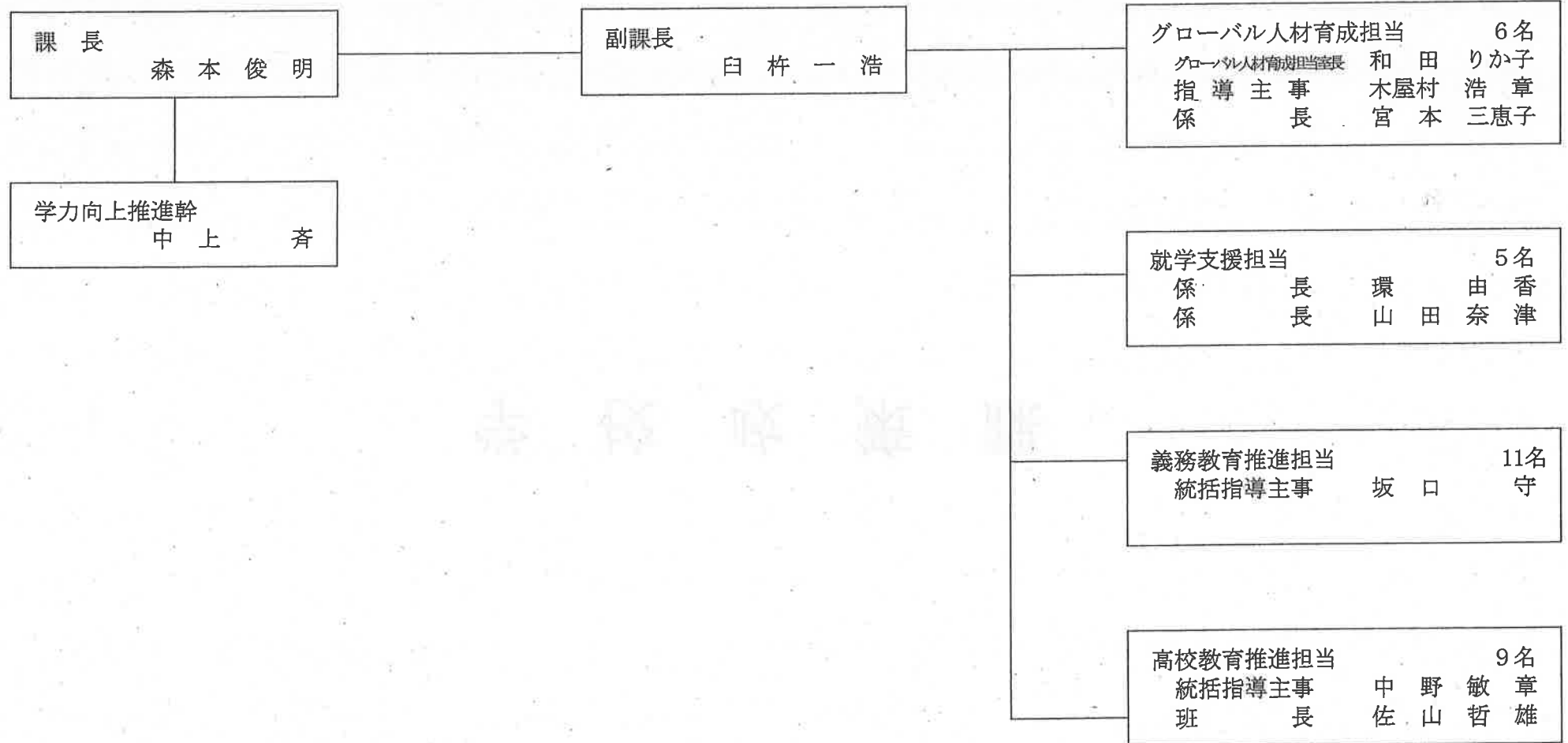
# 学校政策課



## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

ア 学校政策課 職員総数 34名



イ 県立学校 城東高校ほか42校 職員総数2,380名

学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
城 東 高 等 学 校	尾 崎 好 秋		長 篠 俊 文	西 浦 敏 文	64 名
			片 山 真 樹		
城 南 高 等 学 校	岩 代 達	山 村 晃	喜 多 博 文	美 保 洋 祐	64
城 北 高 等 学 校	末 善 守		平 井 昭 夫	大 本 信 夫	67
			太 田 雅 彦		
城 ノ 内 高 等 学 校	岩 崎 洋		大 島 耕 司	岡 田 稔	54
			藤 川 正 樹		
徳 島 北 高 等 学 校	西 浦 宏 明		林 敏 恵	矢 野 憲 司	67
			竹 内 正 文		
城 西 高 等 学 校	安 永 潔		米 本 賢 徳	田 村 恭 子	74
			小 原 史 明		
			阿 部 隆		
徳 島 科 学 技 術 高 等 学 校	美 馬 持 仁		西 裕 治	宇 山 謙 二	125
			林 日 出 夫		
			堀 筋 隆 史		
			大 住 満 寿 夫		
徳 島 商 業 高 等 学 校	須 見 力		永 岡 哲 哉	加 藤 隆 弘	59
			守 田 裕 史		
徳 島 中 央 高 等 学 校	中 島 康 男		藤 川 卓 司	山 口 聖 雄	56
			谷 崎 公 治		
			池 渕 茂		
			大 野 真 二		
小 松 島 高 等 学 校	湯 浅 利 彦		阿 部 博 文	吉 岡 毅	48
			小 山 茂 美		

学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
小松島西高等学校	田 尾 公 生		寺 奥 敦 子	山 口 泰 史	71 名
			乾 修 治		
			久 田 真由美		
富岡東高等学校	佐 々 矢 寸 志		斎 藤 元 秀	矢 野 一 博	72
			檜 原 英 夫		
			岡 美 代 司		
			村 田 光		
富岡西高等学校	西 崎 亨		中 村 顕 也	島 田 昌 彦	57
			吉 岡 隆 徳		
阿南工業高等学校	武 岡 章		中 原 正 治	中 村 順	48
			古 味 俊 二		
			笠 谷 純 弘		
新野高等学校	久 保 博 司		土 井 正 史	三 宅 旨 抗	33
			久米田 憲 司		
那賀高等学校	佐 々 木 尊		湊 雅 邦	佐 竹 史 也	23
			谷 本 晃 成		
海部高等学校	後 藤 浩 代		糸 林 祐 紀	吉 広 昌 則	39
			宮 本 秀 樹		
鳴門高等学校	丸 居 昭 彦		岡 本 洋 明	山 口 省 吾	73
			横 井 祥 人		
			徳 永 誠		
鳴門渦潮高等学校	天 羽 博 昭		矢 間 雅 司	後 藤 高 志	63
			宮 井 玲 夫		
板野高等学校	中 田 寛 志		黒 田 善 克	福 田 清	47
			森 本 康 司		
阿波高等学校	小 島 敦		井 上 章 生	田 中 義 雄	48
			板 谷 章 吾		



学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
名 西 高 等 学 校	乾 寛		西 木 正	山 中 久 美 子	49 名
			寺 澤 康 文		
			橋 見 誠 一		
吉 野 川 高 等 学 校	宮 澤 久 栄		岩 見 孝 宏	江 口 洋 介	53
			青 木 秀 雄		
川 島 高 等 学 校	町 口 雅 治		山 村 啓 治	割 石 徹	44
			桂 啓 人		
			大久保 芳 純		
阿 波 西 高 等 学 校	北 池 清 剛		河 村 説 夫	稲 井 建 夫	28
			臼 井 公 仁		
穴 吹 高 等 学 校	高 原 清 秀		佐 藤 光 彦	仁 木 恵 美 子	32
			前 田 茂		
			宮 本 千 賀 博		
脇 町 高 等 学 校	三 好 章 文		三 橋 雄 二	林 裕	48
			武 田 伊 織		
つ る ぎ 高 等 学 校	伊 勢 和 彦		永 濱 匡 敏	大 西 孝 一	65
			佐 尾 山 秀 樹		
			川 上 教 夫		
辻 高 等 学 校	桑 原 浩 二		前 田 芳 人	佐 藤 誠 作	31
			豊 田 聖 司		
			米 延 賢 治		
池 田 高 等 学 校	結 城 孝 典		中 川 敬 司	松 本 健 志	48
			石 丸 憲 治		
			向 井 和 博		
三 好 高 等 学 校	井 上 裕 明		上 浦 祥 司	甲 斐 宏 司	33
			大 田 孝 延		

学 校 名	校 長	副 校 長	教 頭	事務(課・室)長	職員総数
徳島視覚支援学校	冨 樫 敏 彦		福 原 孝 弘	増 田 浩 之	55 名
徳島聴覚支援学校	冨 樫 敏 彦		柳 浩 一	増 田 浩 之	48
板野支援学校	柴 田 雅 之		宮 崎 衣 史 森 好 史	後 藤 文 彦	121
国府支援学校	飯 田 ひ と み	東 條 美 智 子	橋 本 敦 子	大 坪 潤 一	127
鳴島支援学校	林 博 子		新 居 見 猛	佐 藤 博 文	39
ひのみね支援学校	田 上 幸 志		森 住 俊 子 鎌 田 啓 通	藤 野 正 敏	50
阿南支援学校	船 崎 益 義	郡 俊 恵	林 素 弘 掛 田 千 津 子	青 山 敏 雄	103
池田支援学校	真 鍋 朱 実		久 米 康 博 多 田 郁 子 中 井 邦 枝	川 原 芳 司	53
みなと高等学園	米 倉 康 博		森 本 真 由 美 名 山 優	竹 原 達 郎	46
城ノ内中学校	岩 崎 洋		小 林 恭 子	岡 田 稔	23
富岡東中学校	佐 々 矢 寸 志		藤 本 孝 之	矢 野 一 博	16
県立川島中学校	町 口 雅 治		森 義 雄	割 石 徹	16
計					2,380 名

(2) 事務分掌

(学校政策課)

課長 森本俊明  
 学力向上推進幹 中上 齊  
 副課長 白杵一浩

担当名	分掌事務	担当者名
グローバル人材育成担当	1 外国語教育に関すること。 2 国際理解教育に関すること。 3 予算の編成，執行及び決算に関すること。	グローバル人材育成担当室長 和田りか子 指導主事 木屋村浩章 係長 宮本三恵子
就学支援担当	1 県立学校等の授業料に関すること。 2 県立学校等の就学支援金に関すること。 3 徳島県奨学金に関すること。	係長 環由香津 係長 山田奈津
義務教育推進担当	1 教育課程，学習指導及び進路指導に関すること（小中）。 2 教科書その他の教材に関すること（小中）。 3 教育研究指定校及び教育研究団体に関すること（小中）。 4 学校図書館その他の教育環境の整備計画指導に関すること（小中）。 5 キャリア教育に関すること（小中）。	統括指導主事 坂口守
高校教育推進担当	1 教育課程，学習指導及び進路指導に関すること（高）。 2 教科書その他の教材に関すること（高）。 3 教育研究指定校及び教育研究団体に関すること（高）。 4 学校図書館その他の教育環境の整備計画指導に関すること（高）。 5 キャリア教育に関すること（高）。 6 大学との連携に関すること。	統括指導主事 中野敏章 班長 佐山哲雄

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
計画調査費	0	0	11,500	0	—							
事務局費	1,578,668	751,551	721,545	827,117	210.1	1,375,356						203,312
教育指導費	239,121	260,141	276,197	△21,020	91.9	56,132			32,000	17,353		133,636
総合教育センター費	160,745	138,071	136,323	22,674	116.4		2,027					158,718
計	1,978,534	1,149,763	1,145,565	828,771	172.1	1,431,488	2,027	0	32,000	17,353	0	495,666

## (2) 特別会計

(単位：千円)

会計名	科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳					
		当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B×100	国支出金	財産収入	繰入金	諸収入	繰越金	
奨学金貸付金 特別会計	奨学金貸付金	329,683	267,436	141,855	62,247	123.3		965			194,567	134,151
計		329,683	267,436	141,855	62,247	123.3	0	965	0	194,567	134,151	

### 3 繰越明許費の状況

(1) 一般会計

(単位：千円)

科目(目)	繰越額	事業名及び繰越理由
計画調査費	11,500	地域活性化・地域住民生活等緊急支援費 計画に関する諸条件
計	11,500	

### 4 重点事業

#### (1) キャリア教育の推進

発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を実施するとともに、体験的な活動を充実させることにより、児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力や態度を育成する。

#### (2) グローバル人材の育成

語学力、コミュニケーション能力、主体性・積極性等を備えた児童生徒を育成するため、小・中・高等学校を通じて英語教育を充実するとともに、外国人との交流、海外留学支援など体験的に学ぶ機会を提供する。

#### (3) 「確かな学力」の育成

基礎・基本の確実な定着はもとより、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図るなど、「生きる力」を支える「確かな学力」を育成する。

#### (4) 豊かな心の育成

子供たちが自己の生き方についての考えを深め、人生をよりよく生きるための基盤となる道徳性を培う道徳教育の充実を図り、命を大切にすることや他人を思いやる心、勤労を重んずる心、郷土の伝統や文化を大切にすることなどの豊かな心を育成する。

#### (5) 地域の教育力の活用

地域の人材や教育力を活用して、地域で子供をはぐくむ活動を推進するとともに、学校評価システムの充実・改善やコミュニティ・スクールの普及を図り、地域に開かれ信頼される学校づくりを進める。

(6) 幼児期における教育の充実

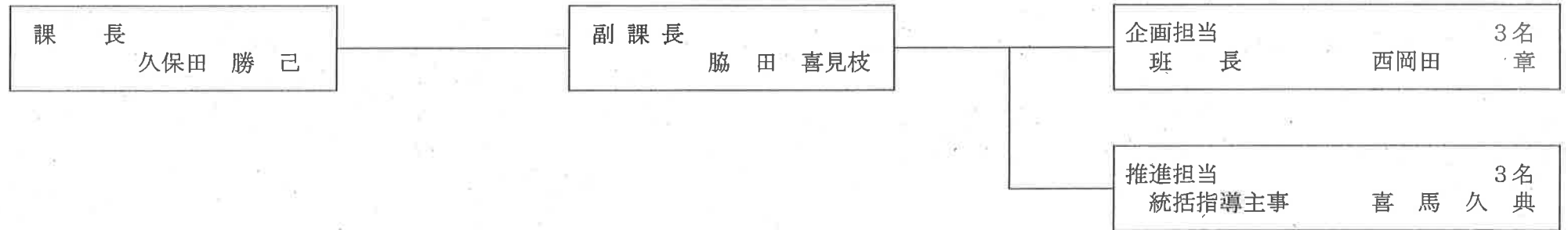
幼稚園と保育所・認定こども園・小学校との連携を推進するとともに、質の高い幼児教育を提供するため、「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」を積極的に推進する。

# 特別支援教育課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

職員総数 8名 (うち1名兼務)



## (2) 事務分掌

課長 久保田 勝己  
副課長 脇田 喜見枝

担当名	分掌事務	担当者名
企画担当	1 小・中学校等における特別支援教育に関すること。 2 教科書その他の教材に関すること。 3 特別支援学校教諭免許状に係る免許法認定講習に関すること。	班長 西岡田 章
推進担当	1 特別支援学校における教育課程，学習指導及び職業指導等に関すること。 2 特別支援学校高等部の入学者選抜に関すること。 3 徳島県教育支援委員会に関すること。	統括指導主事 喜馬 久典



## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

### (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度		前年度		比較		財源内訳					
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源						一般財源
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債	
教育指導費	48,586	36,032	46,915	12,554	134.8	35,407			2,200	800		10,179
特別支援学校費	120,000	111,000	118,105	9,000	108.1	60,000						60,000
計	168,586	147,032	165,020	21,554	114.7	95,407	0	0	2,200	800	0	70,179

## 3 重点事業

### 個性がひらく特別支援教育の推進

#### (1) 相談支援体制の充実

個別の教育支援計画の作成・活用を通して幼稚園、小・中・高等学校や特別支援学校において継続した支援を行い、幼児児童生徒に対する指導や支援の「質」を高めるとともに、医療・保健・福祉・労働等関係機関との連携による支援体制を構築し、相談支援体制の一層の充実を図る。

#### (2) 就労支援の充実

関係機関との連携を強化し、企業の障がい者雇用への理解を推進するとともに、生徒の就労意欲や技能向上を図るなど、特別支援学校生徒の社会的・職業的自立のための取組を強化する。

#### (3) 発達障がい教育の充実

各学校において社会スキルの習得や学校・地域ぐるみで取り組むサポート体制の導入を行うとともに、「徳島県発達障がい教育研究会」を開催し、適切な指導及び必要な支援をさらに充実し、共有した知見を県内外に発信する。

児童生徒一人一人の教育的ニーズに、よりの確に応える体制を進めるため、多様な学びの場を充実し、教育分野の専門家との連携や研修内容の充実を図るなど、教員の専門性の向上に取り組み、特別支援学校のセンター的機能の充実を図る。

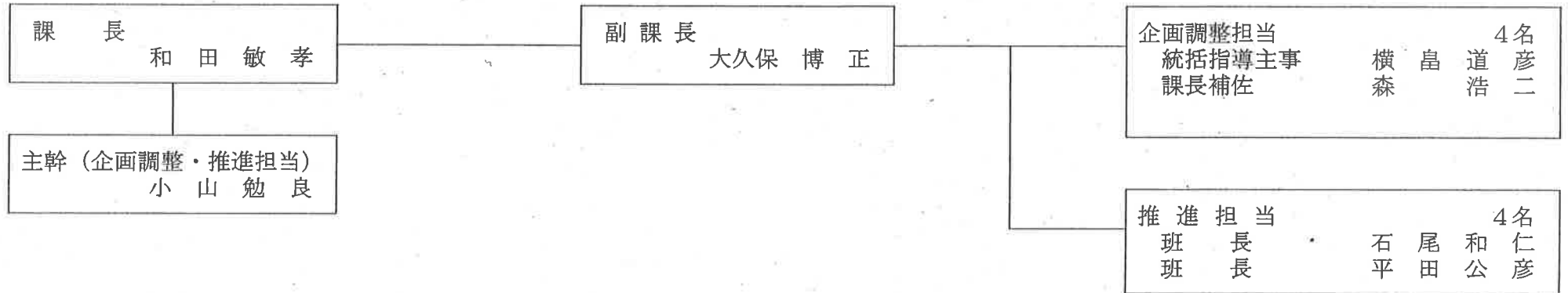


# 人 權 教 育 課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

ア-1 (本課) 職員総数 11名



ア-2 (いじめ問題等対策室) 職員総数 5名



(2) 事務分掌

課長 和田 敏 孝  
 主幹(企画調整・推進担当) 小山 勉 良  
 副課長 大久保 博 正

担当名	分掌事務	担当者名
企画調整担当	1 人権教育の総合的な企画及び連絡調整に関する事 2 人権関係機関等との連絡調整に関する事 3 地域改善対策奨学金に関する事	統括指導主事 横 畠 道 彦 課長補佐 森 浩 二
推進担当	1 学校及び社会における人権教育の推進に関する事 2 人権教育指導者用手引書の活用促進に関する事 3 人権教育研究指定校事業に関する事 4 差別事件・事象に関する事 5 人権教育指導者の育成に関する事 6 人権教育の推進に必要な調査研究に関する事	班 長 石 尾 和 仁 彦 班 長 平 田 公 彦

(いじめ問題等対策室)

室 長 小 林 良 章

担当名	分掌事務	担当者名
いじめ問題等対策担当	1 いじめ問題等対策審議会に関する事 2 いじめ問題等対策連絡協議会に関する事 3 いじめ問題等, 問題行動の予防と対策に関する事 4 問題行動等, 生徒指導上の諸問題に関する事 5 小・中・高・特別支援学校生徒指導主任・主事研修会に関する事 6 県高校生徒生活指導連絡協議会に関する事 7 補導センター指導主事部会に関する事 8 スクールカウンセラーの活用に関する事	班 長 中 崎 誠 一 班 長 大 井 孝

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	27年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特 定 財 源						一般財源
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債	
教 育 指 導 費	153,087	151,006	152,258	2,081	101.4	28,500				12,599		111,988
計	153,087	151,006	152,258	2,081	101.4	28,500	0	0	0	12,599	0	111,988

## 3 重点事業

## (1) 人権教育の推進

ア 発達段階に応じた人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進めるとともに、幼児・児童生徒が自主的に活動できる機会を設けることにより人権問題の解決に向けた実践力を養い、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進する。

イ 生涯学習の視点に立ち、交流会、研究会などの多様な学習機会を展開していくことを通じて人権尊重の意識を高め、学校・家庭・地域が一体となった人権教育を推進する。

ウ 各種の研修機会を通じ、人権教育の推進者である教員自身の人権意識を高め、資質の向上を図るとともに、指導力の向上を図る。

エ 地域社会における人権教育を推進するため、県内全域にわたる人権教育推進者の養成と資質の向上を図る。

## (2) 生徒指導の充実

ア 関係諸機関や団体との連携を一層深め、いじめや暴力をはじめとする児童生徒の様々な問題行動の未然防止に努めるとともに、早期発見・早期解消を図る。

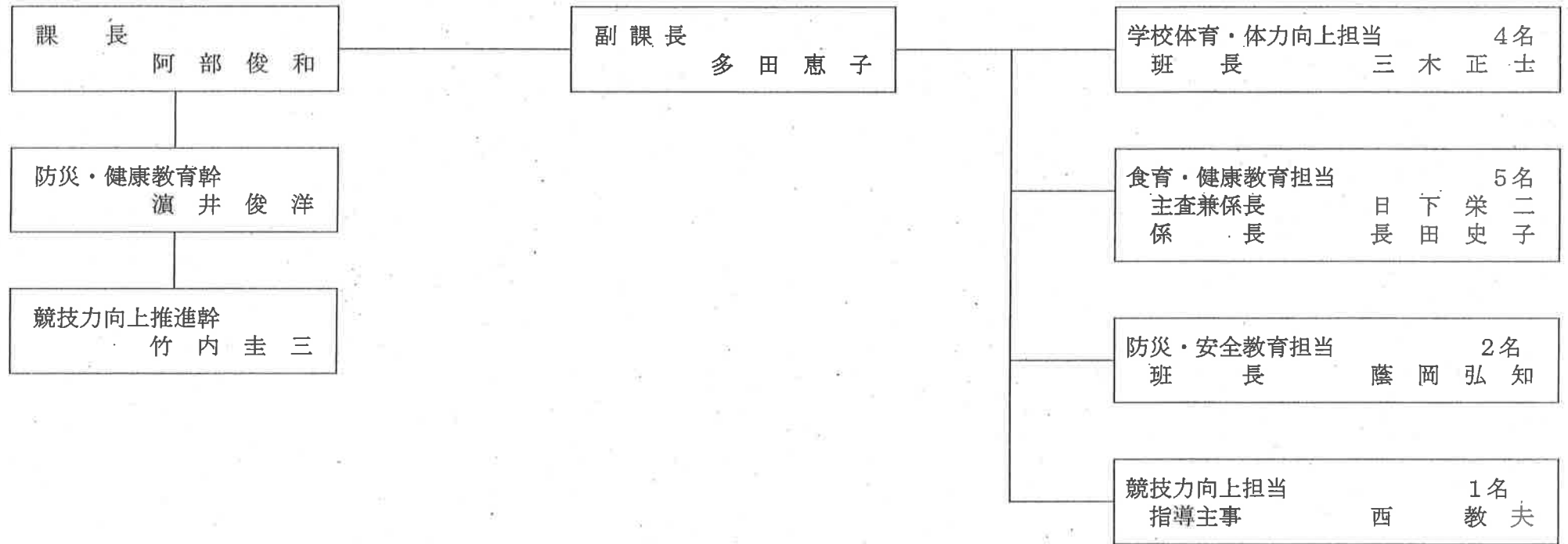
イ いじめや不登校など、児童生徒の多様な悩みに対応する相談体制の充実を図るとともに、命のすばらしさや尊さを学び、将来にわたって自分だけでなく、他人の命や心をサポートできる児童生徒を育てる教育を推進する。

# 体育学校安全課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

ア 職員総数 16名





(2) 事務分掌

課長 阿部俊和  
 防災・健康教育幹 濱井俊洋  
 競技力向上推進幹 竹内圭三  
 副課長 多田恵子

担当名	分掌事務	担当者名
学校体育・体力向上担当	1 学校体育の総合企画及び推進に関する事 2 徳島トップスポーツ校育成事業に関する事 3 児童・生徒の体力・運動能力向上に関する事 4 中学校武道・ダンス必修化に向けた指導に関する事 5 小学校体育連盟・中学校体育連盟・高等学校体育連盟等の育成指導に関する事	班長 三木正士
食育・健康教育担当	1 学校保健の指導及び普及推進に関する事 2 元気な阿波っ子！育成事業に関する事 3 性教育・エイズ教育・がんの教育に関する事 4 学校給食の普及推進に関する事 5 学校における食育の推進に関する事	主査兼係長 日下栄二 係長 長田史子
防災・安全教育担当	1 防災・安全教育の総合企画及び推進に関する事 2 学校の安全管理及び通学路の安全確保に関する事 3 学校の安全教育（生活・交通・災害）に関する事 4 実践的防災・安全教育総合推進事業に関する事 5 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業に関する事	班長 蔭岡弘知
競技力向上担当	1 競技力向上に関する事 2 渦潮スポーツアカデミー推進事業に関する事 3 徳島県体育協会・競技団体との連携に関する事	指導主事 西 教夫

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度		前年度		比較		財源内訳					
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源						一般財源
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債	
保健体育総務費	179,571	179,315	167,772	256	100.1	14,610			4,500	124,757		35,704
体育振興費	41,659	53,332	59,413	△11,673	78.1	19,179						22,480
計	221,230	232,647	227,185	△11,417	95.1	33,789	0	0	4,500	124,757	0	58,184

## 3 重点事業

## (1) 体力・運動能力の向上

子供たちの体力を向上させるため、専門的な指導員による体育科授業の支援を行うなど、学校体育の充実を図るとともに、子供たちが主体的に運動を継続し、運動習慣の確立を図る取組を、地域・学校・家庭が連携して推進する。

## (2) 競技力の向上と普及・啓発

本県高校スポーツの競技力向上と普及・振興を図り、全国大会で入賞できる部活動を育成するため、徳島トップスポーツ校育成事業を推進し、それぞれの特徴に応じた部活動を支援する。

また、徳島県の未来のトップアスリートを発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高校や鳴門・大塚スポーツパークを中心にして、「渦潮スポーツアカデミー推進事業」に積極的に取り組む。

## (3) 健康教育・食育の推進

本県の子供たちの特徴的な健康課題である「肥満予防」「生活習慣の改善」を推進するため、学校・家庭・地域・専門家等が連携して、元気な阿波っ子！育成事業を実施する。

また、「徳島県食育推進計画」に基づき、学校・家庭・地域が連携し、子供たちの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため、学校における「食育」を推進する。

(4) 防災・安全教育の推進

地域防災の担い手となる人材の育成と実践力の向上を図るため、すべての県立高校で「防災クラブ」を立ち上げるとともに、防災ボランティアとして必要な知識・技能を身につけた生徒を育成する。

また、学校における防災・安全管理体制の充実を図り、児童生徒が主体的に安全を判断し行動できる能力を身につけるため、地域住民・保護者・関係機関との連携体制の構築に積極的に取り組む地域や学校を支援する。

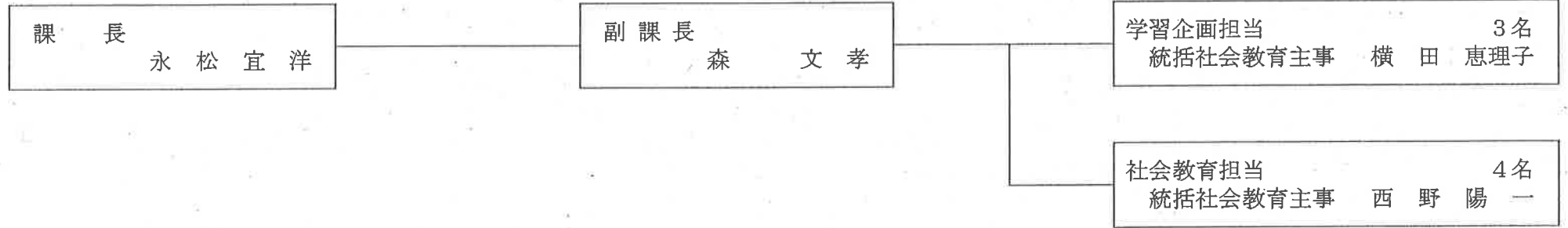


# 生涯學習政策課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

職員総数 9名



## (2) 事務分掌

課長 永松宜洋  
副課長 森文孝

担当名	分掌事務	担当者名
学習企画担当	1 生涯学習の企画調整及び推進に関する事。 2 社会教育委員会議に関する事。 3 図書館、公民館、博物館活動の振興に関する事。 4 女性教育指導者及び女性団体の育成指導に関する事。 5 青年教育及び青年団体に関する事。 6 予算の編成、執行及び決算に関する事。	統括社会教育主事 横田恵理子
社会教育担当	1 社会教育の企画調整及び推進に関する事。 2 少年教育及び少年団体に関する事。 3 学校支援活動の推進に関する事。 4 子どもの読書活動の推進に関する事。 5 家庭教育支援に関する事。 6 放課後子供教室の推進に関する事。 7 少年自然の家に関する事。 8 PTAの育成指導に関する事。	統括社会教育主事 西野陽一

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

### (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源						一般財源
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	地方債	
計画調査費	0	0	54,000	0	—							
総合教育 センター費	9,205	8,559	7,926	646	107.5							9,205
社会教育総務費	129,195	199,170	191,425	△69,975	64.9	23,970						105,225
視聴覚教育費	279	347	318	△68	80.4							279
計	138,679	208,076	253,669	△69,397	66.6	23,970	0	0	0	0	0	114,709

## 3 繰越明許費の状況

### (1) 一般会計

(単位：千円)

科目(目)	繰越額	事業名及び繰越理由
計画調査費	54,000	地域活性化・地域住民生活等緊急支援費 計画に関する諸条件
計	54,000	

## 4 重点事業

### (1) 生涯学習の推進

県民が生涯にわたり自己実現を図ることができるよう生涯学習活動を促進するため、指導者や団体の育成を行うとともに、情報の提供等の学習支援を実施する。

### (2) 家庭や地域の教育力の向上

地域住民の参画により放課後等における安全で安心な体験活動や学習を行う場づくりを推進するとともに、学校を支援する活動を推進する。また、父親や家庭教育の次世代を担う者に対して家庭教育への参画を推進する。

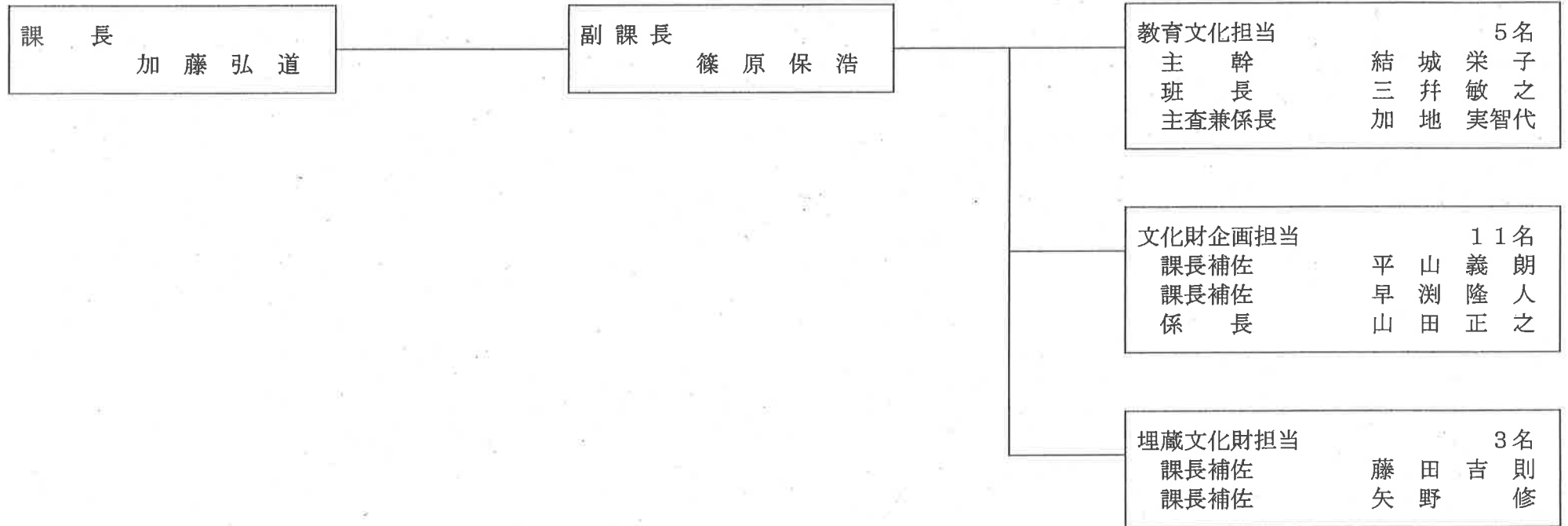


# 教育文化政策課

## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

ア 教育文化政策課 職員総数 21名



イ 徳島県立埋蔵文化財総合センター 職員総数 2名 (うち2名兼務)



(2) 事務分掌

課長 加藤弘道  
副課長 篠原保浩

担当名	分掌事務	担当者名
教育文化担当	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予算の編成，執行及び決算に関すること。</li> <li>2 学校の文化振興に関すること。</li> <li>3 伝統文化を尊重する教育に関すること。</li> <li>4 著作権に関すること。</li> </ol>	主幹 結城栄子 班長 三井敏之 主査兼係長 加地実智代
文化財企画担当	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財保護行政の企画及び調整に関すること。</li> <li>2 文化財の指定及び徳島県文化財保護審議会に関すること。</li> <li>3 文化財保護に係る補助事業に関すること。</li> <li>4 有形文化財・無形文化財・民俗文化財・史跡名勝天然記念物等に関すること。</li> <li>5 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観に関すること。</li> <li>6 登録文化財に関すること。</li> <li>7 銃砲刀剣類登録に関すること。</li> <li>8 文化財愛護活動及び徳島縣市町村文化財保護審議会連絡協議会に関すること。</li> <li>9 いにしえ夢街道構想の推進に関すること。</li> <li>10 文化財パトロールに関すること。</li> <li>11 埋蔵文化財の保護に関すること。</li> <li>12 埋蔵文化財と開発事業との調整に関すること。</li> <li>13 埋蔵文化財市町村指導に関すること。</li> <li>14 埋蔵文化財普及活動に関すること。</li> </ol>	課長補佐 平山義朗 課長補佐 早淵隆人 係長 山田正之
埋蔵文化財担当	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県下の埋蔵文化財の調査及び研究に関すること。</li> <li>2 出土した文化財の整理及び保存に関すること。</li> <li>3 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発，普及に関すること。</li> <li>4 その他，埋蔵文化財保護行政の目的を達成するために必要な業務。</li> </ol>	課長補佐 藤田吉則 課長補佐 矢野修

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科目 (目)	27年度	前年度		比較		財源内訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特定財源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
計画調査費	0	0	49,000	0	—							
文化及び文化財費	256,833	440,053	400,504	△183,220	58.4	3,662	597			189,929		62,645
計	256,833	440,053	449,504	△183,220	58.4	3,662	597	0	0	189,929	0	62,645

## 3 繰越明許費の状況

## (1) 一般会計

(単位：千円)

科目(目)	繰越額	事業名及び繰越理由
計画調査費	49,000	地域活性化・地域住民生活等緊急支援費 計画に関する諸条件
文化及び文化財費	11,506	文化財保護費 計画に関する諸条件
計	60,506	

## 4 重点事業

### (1) 伝統文化の継承と文化芸術の創造

児童生徒がふるさと徳島の文化について県内外で発信できるように、学校における伝統文化・文化財の継承に資する教育を推進する。

### (2) 豊かな感性を育む芸術文化活動の推進

様々な学習機会を活用し、芸術文化に関する体験学習や優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図ることにより、児童生徒が豊かな感性や情操、創造性、コミュニケーション能力などを養うことができるように取り組む。

### (3) 文化遺産を活用した学びの場づくり

県内所在の文化財について基礎調査を行い、文化財の適切な保存・活用を図るとともに、県民の参加を得ながら、文化財を活かした地域づくりをめざす各地域の取組を支援する。

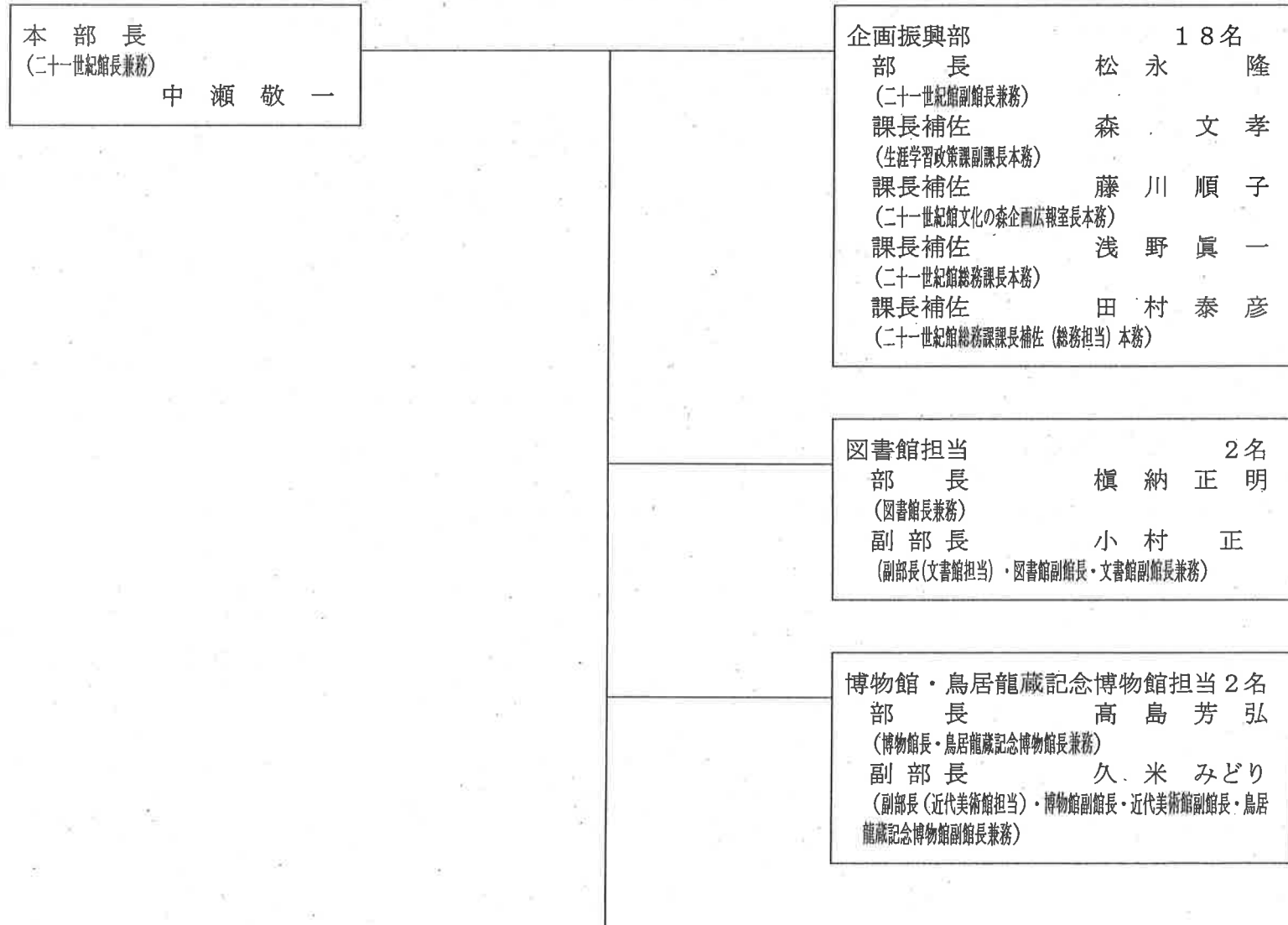


# 文化の森振興本部

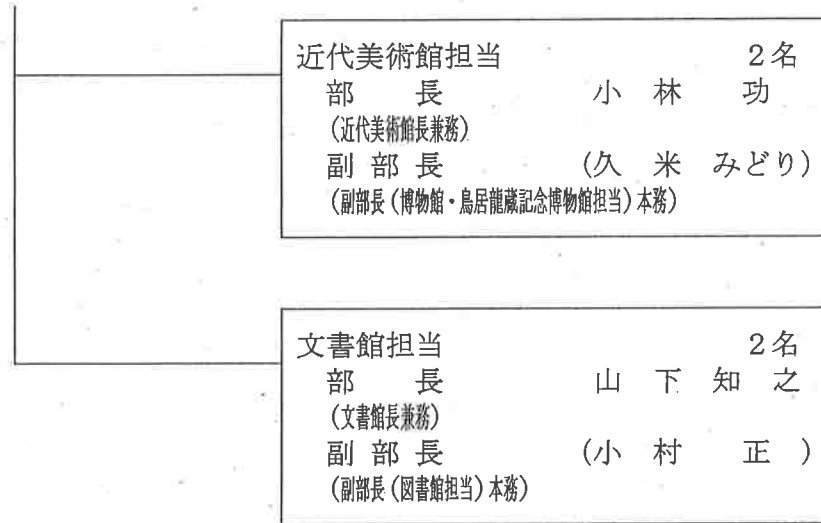
## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

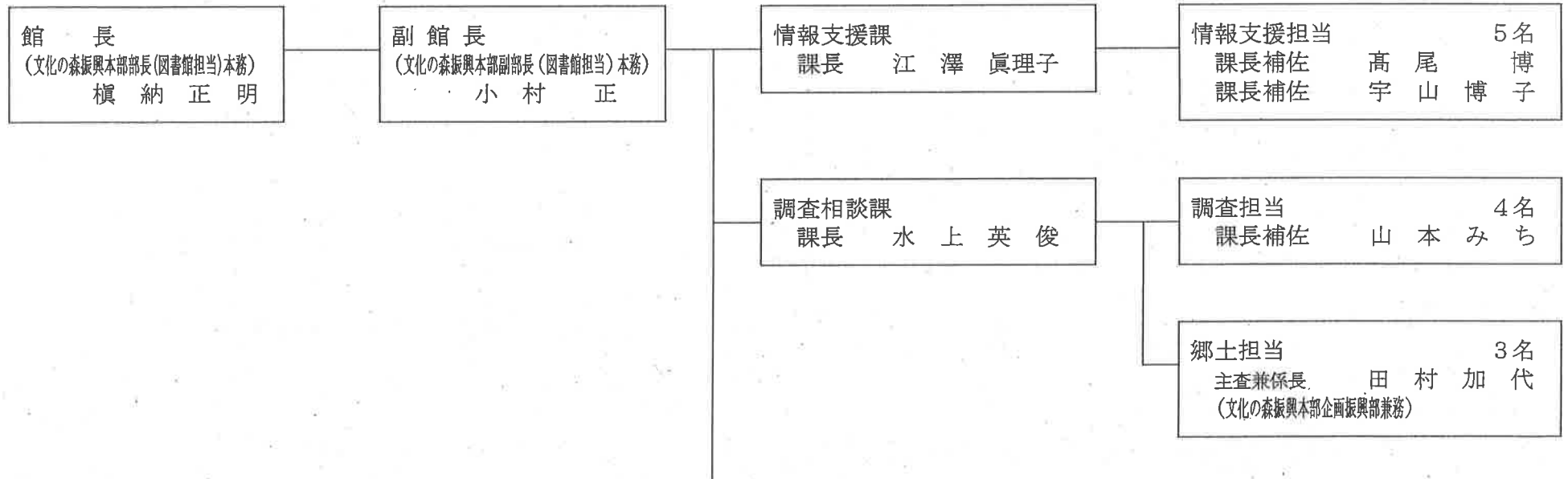
ア 文化の森振興本部 職員総数 25名 (うち17名兼務)



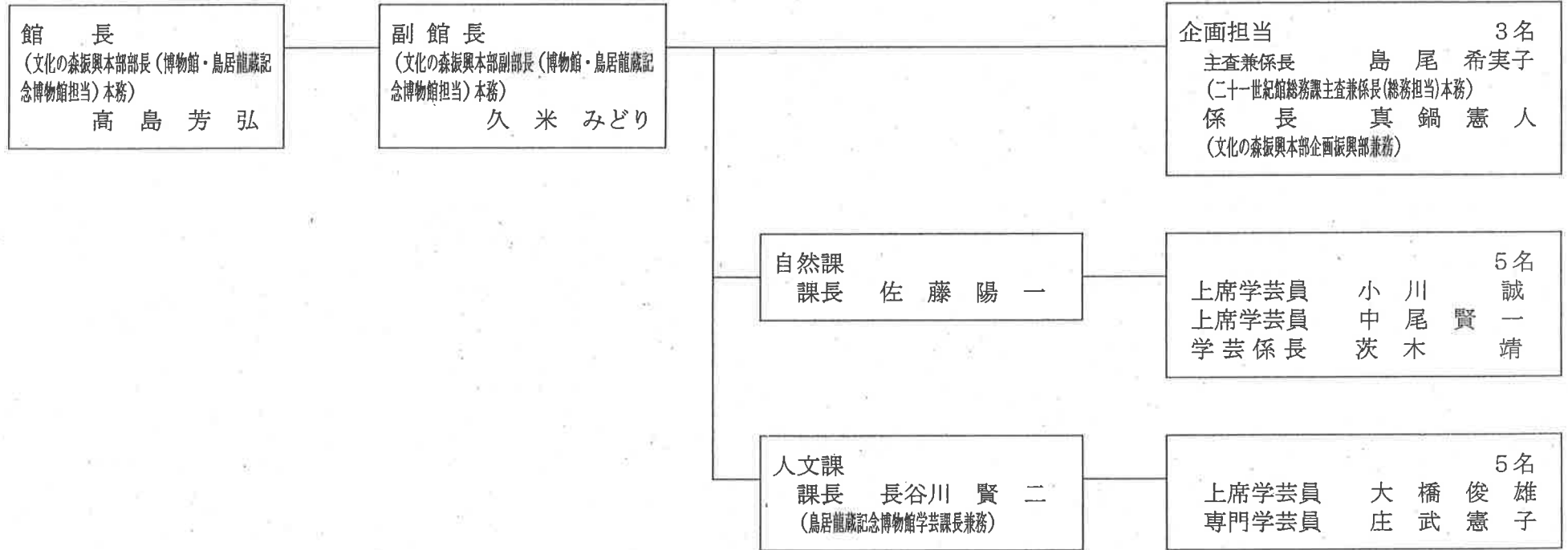




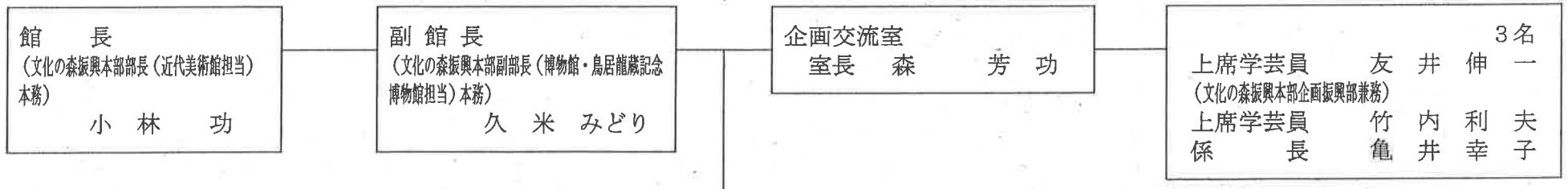
イ (ア) 図書館 職員総数 22名 (うち2名兼務)



## (イ) 博物館 職員総数 17名 (うち3名兼務)



## (ウ) 近代美術館 職員総数 10名 (うち2名兼務)



学芸調査課  
課長 江川佳秀

3名  
上席学芸員 安達一樹  
上席学芸員 吉原美恵子  
上席学芸員 吉川神津夫

(エ) 文書館 職員総数 4名 (うち2名兼務)

館長  
(文化の森振興本部長(文書館担当)本務)  
山下知之

副館長  
(文化の森振興本部長(図書館担当)本務)  
小村正

公文書担当  
課長補佐 金原祐樹 1名

古文書担当  
課長補佐 徳野隆 1名  
(文化の森振興本部企画振興部兼務)

(オ) 二十一世紀館 職員総数 12名 (うち2名兼務)

館長  
(文化の森振興本部長本務)  
中瀬敬一

副館長  
(文化の森振興本部企画振興部長本務)  
松永隆

文化の森企画広報室  
室長 藤川順子  
(文化の森振興本部企画振興部課長補佐兼務)

企画広報担当 3名  
主査兼係長 重本敏恵  
(文化の森振興本部企画振興部主査兼係長兼務)  
係長 吉本公昭  
(文化の森振興本部企画振興部係長兼務)

総務課  
課長 浅野 眞一  
(文化の森振興本部企画振興部課長補佐兼務)

総務担当 5名  
課長補佐 田村 泰彦  
(文化の森振興本部企画振興部課長補佐兼務)  
主査兼係長 島尾 希実子  
(文化の森振興本部企画振興部主査兼係長・博物館主査兼係長  
(企画担当)兼務)  
係長 中火 保江  
(文化の森振興本部企画振興部係長兼務)

(カ) 鳥居龍蔵記念博物館 職員総数 7名 (うち5名兼務)

館長  
(文化の森振興本部部長(博物館・鳥居龍蔵記念博物館担当)本務)  
高島 芳弘

副館長  
(文化の森振興本部副部長(博物館・鳥居龍蔵記念博物館担当)本務)  
久米 みどり

学芸課  
課長 長谷川 賢二  
(博物館人文課長本務)

課長補佐 石井 伸夫 4名

(2) 事務分掌

(文化の森振興本部)

本部長 中瀬 敬一

担当名	分掌事務	担当者名
企画振興部	1 文化の森の企画及び運営に関する総合調整。	部長 松永 隆
図書館担当	1 図書館に関すること。	部長 槇納 正明
博物館・鳥居龍蔵記念博物館担当	1 博物館に関すること。 2 鳥居龍蔵記念博物館に関すること。	部長 高島 芳弘
近代美術館担当	1 近代美術館に関すること。	部長 小林 功
文書館担当	1 文書館に関すること。	部長 山下 知之

## 2 平成27年度歳入歳出予算の総括

### (1) 一般会計

(単位：千円)

科 目 (目)	27年度	前 年 度		比 較		財 源 内 訳						
	当初予算額 A	当初予算額 B	最終予算額	増減 A-B	率 A/B ×100	特 定 財 源					一般財源	
						国支出金	使用料 手数料	財産収入	繰入金	諸収入		地方債
文化の森総合 公園文化施設費	637,088	592,344	617,894	44,744	107.6		14,531		41,000	39,622		541,935
計	637,088	592,344	617,894	44,744	107.6	0	14,531	0	41,000	39,622	0	541,935

## 3 重点事業

### 文化の森総合公園文化施設の機能充実

- (1) 文化の森は、都市公園の中に、県民の文化創造活動を先導する拠点として図書館、博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居龍蔵記念博物館の各文化施設を一体的に整備した全国的にも例のない総合公園である。このため、各文化施設相互間の連携を図り、相乗的な効果が発揮できるよう円滑な運営に努める。
- (2) 開館以来、各館の持つ特性を生かし、本県の文化創造活動を先導する拠点として、また、県民の憩いの場として定着してきたが、更に県民の文化意識を高めるために文化の森6館が果たすべき役割を再確認しながら、県民ニーズの把握に努め、常に新鮮で魅力ある施設づくりに努める。

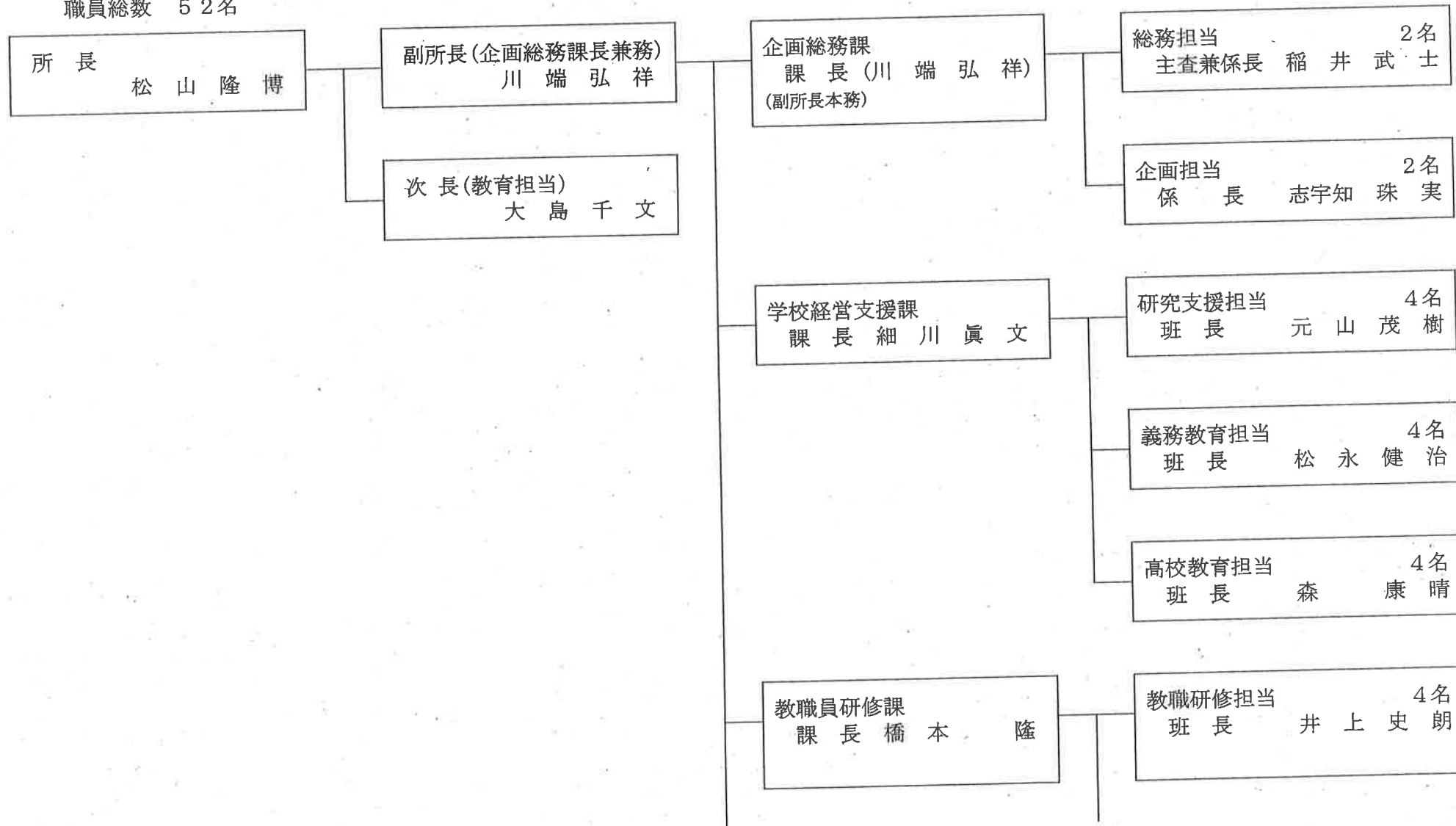


# 総合教育センター

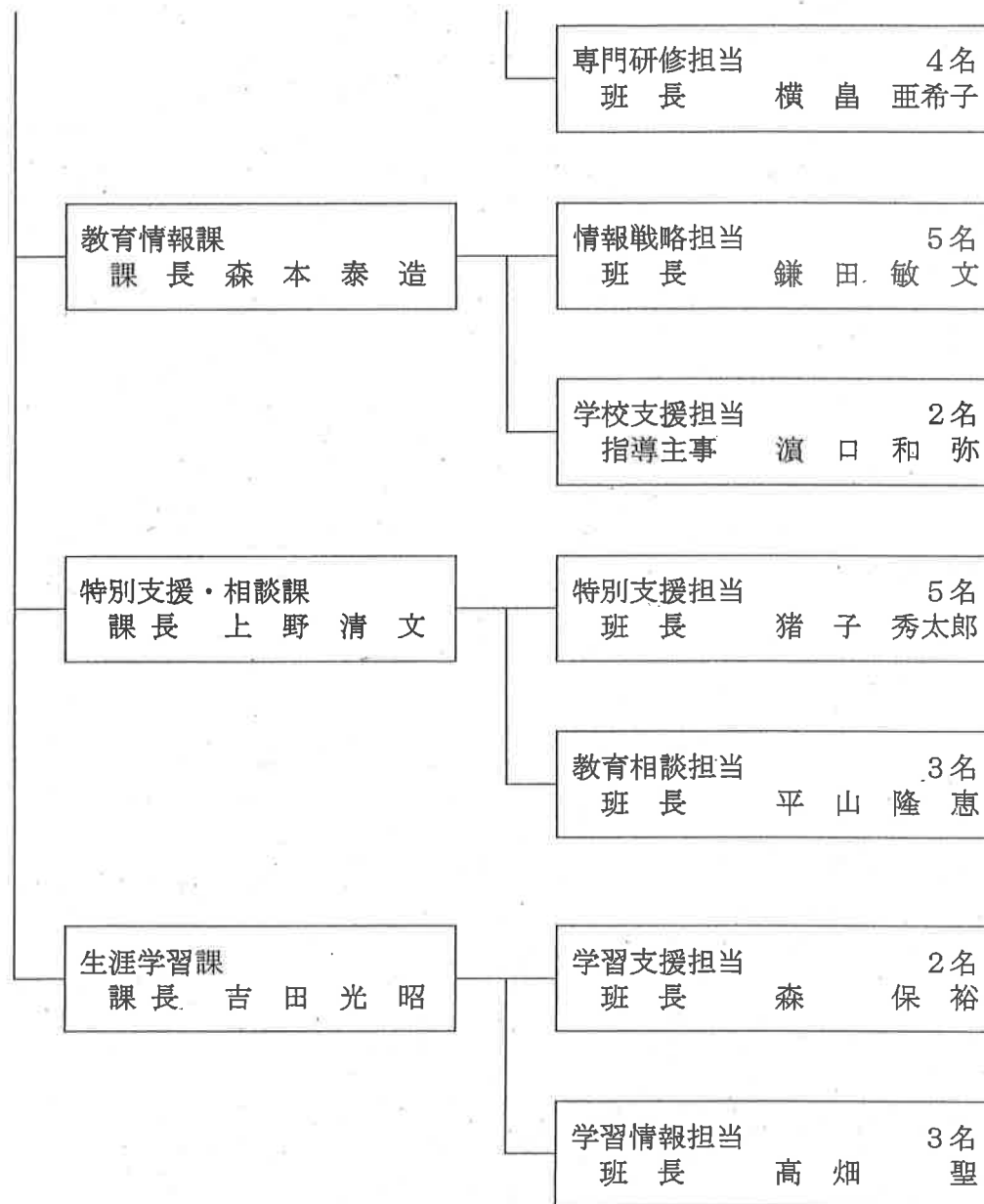
## 1 組織図及び事務分掌

## (1) 組織図

職員総数 52名







## (2) 事務分掌

所 長 松 山 隆 博  
 副 所 長 川 端 弘 祥  
 (企画総務課長兼務)  
 次 長 大 島 千 文

課名	担 当 名	分 掌 事 務	担 当 者 名
企画 総務課		課事務の総括	課 長 (川 端 弘 祥) (副所長本務)
	総務担当	1 総務担当事務の総括に関する事。 2 報酬, 給与, 旅費に関する事。 3 歳入歳出予算の編成・決算に関する事。	主査兼係長 稲 井 武 士
	企画担当	1 企画担当事務の総括に関する事。 2 庁舎管理に関する事。 3 教育財産関係に関する事。	係 長 志 宇 知 珠 実
学校 経営 支援課		課事務の総括	課 長 細 川 眞 文
	研究支援担当	1 研究支援担当事務総括に関する事。 2 大学と委員会との連携・連絡協議会に関する事。 3 環境・エネルギー教育推進事業に関する事。	班 長 元 山 茂 樹
	義務教育担当	1 義務教育担当事務総括に関する事。 2 学力向上研修に関する事。 3 徳島県学力ステップアップテストに関する事。	班 長 松 永 健 治
	高校教育担当	1 高校教育担当事務総括に関する事。 2 外部専門機関と連携した英語指導力向上事業に関する事。 3 大学・研究機関等研修に関する事。	班 長 森 康 晴

課名	担当名	分掌事務	担当者名
教職員研修課		課事務の総括	課長 橋本 隆
	教職研修担当	1 教職研修担当の事務の総括に関する事。 2 研修の全体計画に関する事。 3 理科の観察・実験指導力養成研修に関する事。	班長 井上 史朗
	専門研修担当	1 専門研修担当事業の総括に関する事。 2 小中高英語パワーアップ講座に関する事。 3 食育推進業務に関する事。	班長 横 島 亜希子
教育情報課		課事務の総括	課長 森本 泰造
	情報戦略担当	1 情報教育施策の計画・調整等に関する事。 2 情報教育研修に関する事。 3 情報セキュリティ業務に関する事。	班長 鎌田 敏文
	学校支援担当	1 教育情報ネットワークの管理・運用業務に関する事。 2 学校支援システム等の管理・運用業務に関する事。 3 学校情報化推進計画等に関する事。	指導主事 濱口 和弥
特別支援・相談課		課事務の総括	課長 上野 清文
	特別支援担当	1 特別支援担当業務の調整に関する事。 2 インクルーシブ教育システム構築に関する事。 3 特別支援教育の研修に関する事。	班長 猪子 秀太郎
	教育相談担当	1 教育相談担当業務の調整に関する事。 2 教育相談の研修に関する事。 3 いじめ対策等生徒指導推進事業に関する事。	班長 平山 隆恵

課名	担当名	分掌事務	担当者名
生涯学習課		課事務の総括	課長 吉田 光昭
	学習支援担当	1 学習支援担当事務の総括に関する事。 2 防災スペシャリストティーチャー養成研修に関する事。 3 ファミリー体験学習推進プロジェクトに関する事。	班長 森 保裕
	学習情報担当	1 学習情報担当事務の総括に関する事。 2 徳島県立総合大学校本部主催講座に関する事。 3 オンラインワンとくしま学講座に関する事。	班長 高畑 聖

## 2 重点事業

### (1) 教職員研修の充実

基本研修において、教職員の経験年数に応じた研修の実施体系を確立するとともに、専門的な知識や技能を習得するための研修、今日的な教育課題に対する研修等を実施し、教育者としての使命の自覚と責任感の高揚を図るなど教職員の資質の向上を図る。

### (2) 教育の情報化の推進

教員のICT活用指導力向上を図り、ICTを活用した学習の支援、情報モラル教育の充実、校務の情報化、学校情報セキュリティの確保など教育の情報化の推進を図る。